



ストレッチされた VRF ユース ケース

- [ストレッチされた VRF ユース ケースについて \(1 ページ\)](#)
- [ストレッチされた VRF ユース ケースの構成 \(2 ページ\)](#)

ストレッチされた VRF ユース ケースについて

ストレッチ VRF (VRF 内) は、すべてのサイト (オンプレミスおよびクラウド サイト) に関連付けられたテンプレートで単一の (共通) VRF が定義される一般的な使用例です。オンプレミス サイトとクラウド サイト間でネットワークを拡張することはできないため、オンプレミス サイトのネットワークの展開には別のテンプレートが使用されます。

同じ VRF をすべてのサイトに拡張すると、追加のルーティング構成を必要とせずに、サイト間でプレフィックスを交換できます。CIDR ブロック (クラウド VPC/VNet でサブネットをプロビジョニングするために使用) は、この拡張 VRF にマッピングされます。

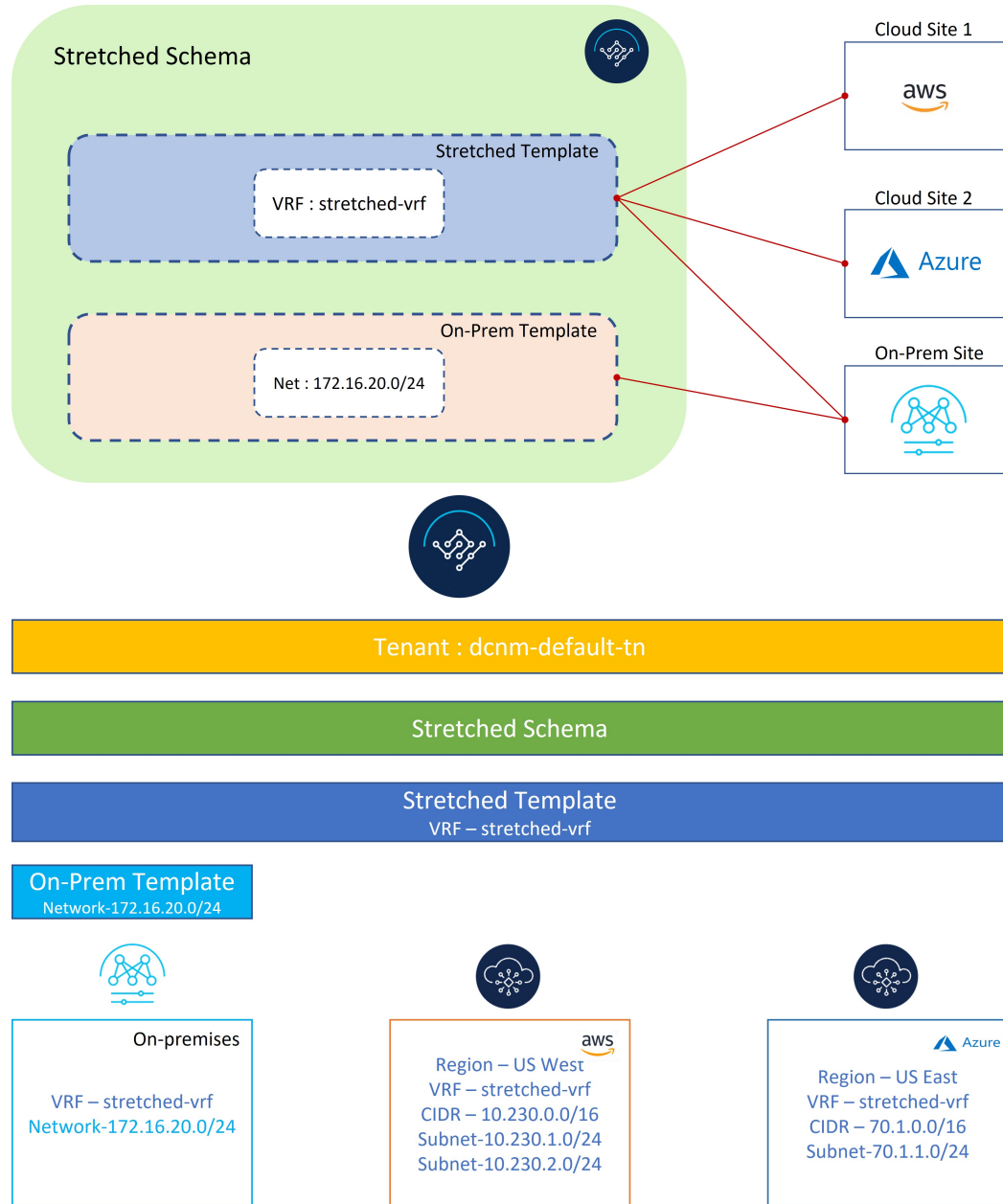


- (注) オンプレミスとクラウド サイト間、またはクラウド サイト間でのレイヤー 2 サブネットの拡張はサポートされていません。

次の図は、デモ スキーマの下で作成される 2 つのテンプレートを示しています：

- 3 つのサイトすべてに展開される VRF を定義する [ストレッチ テンプレート (Stretched Template)]。クラウド サイトの場合、VRF の下でリージョンと CIDR ブロックを定義します。
- オンプレミスの VXLAN ファブリックに展開されるネットワークを含む On_Prem テンプレート。

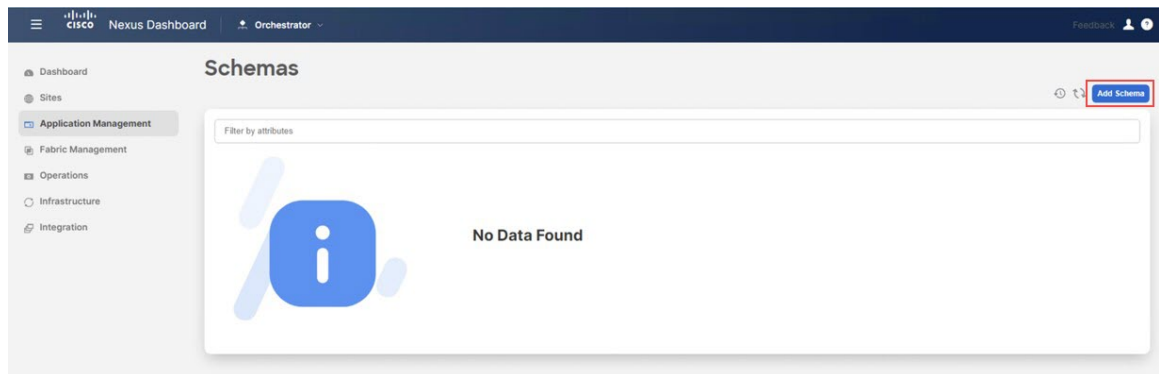
図 1:



ストレッチされた VRF ユース ケースの構成

ステップ 1 NDO で、[アプリケーション管理 (Application Management)] > [スキーマ (Schema)] に移動し、[スキーマの追加 (Add Schema)] をクリックします。

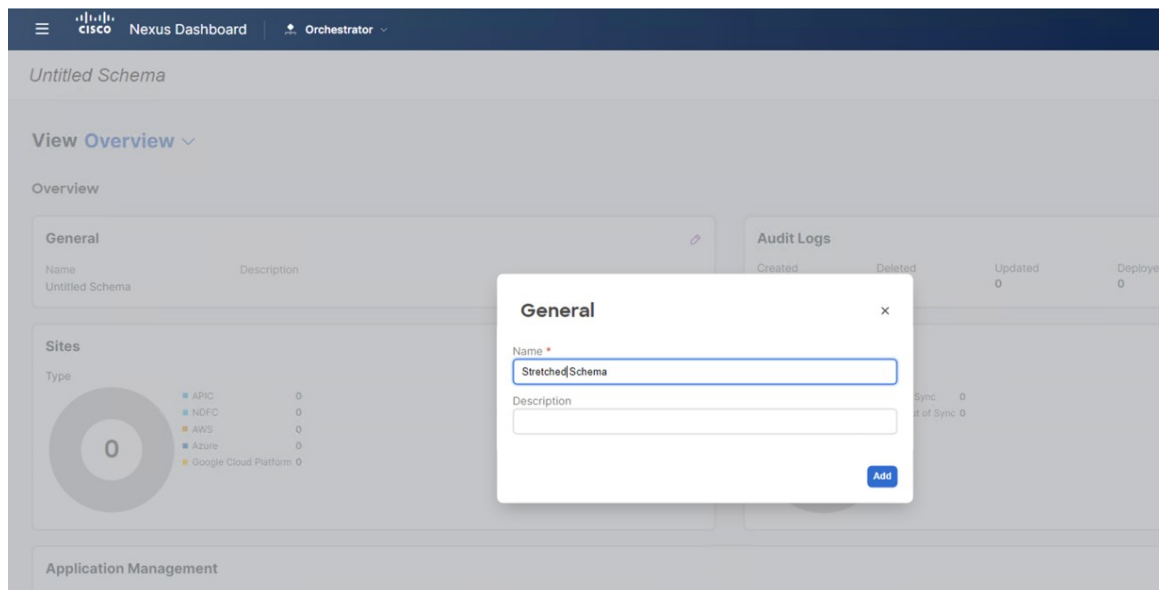
図 2:



ステップ 2 スキーマ名を指定し、[追加 (Add)] をクリックします。

このユース ケースでは、新しいスキーマに [ストレッチ スキーマ (Stretched Schema)] という名前を付けます。

図 3:

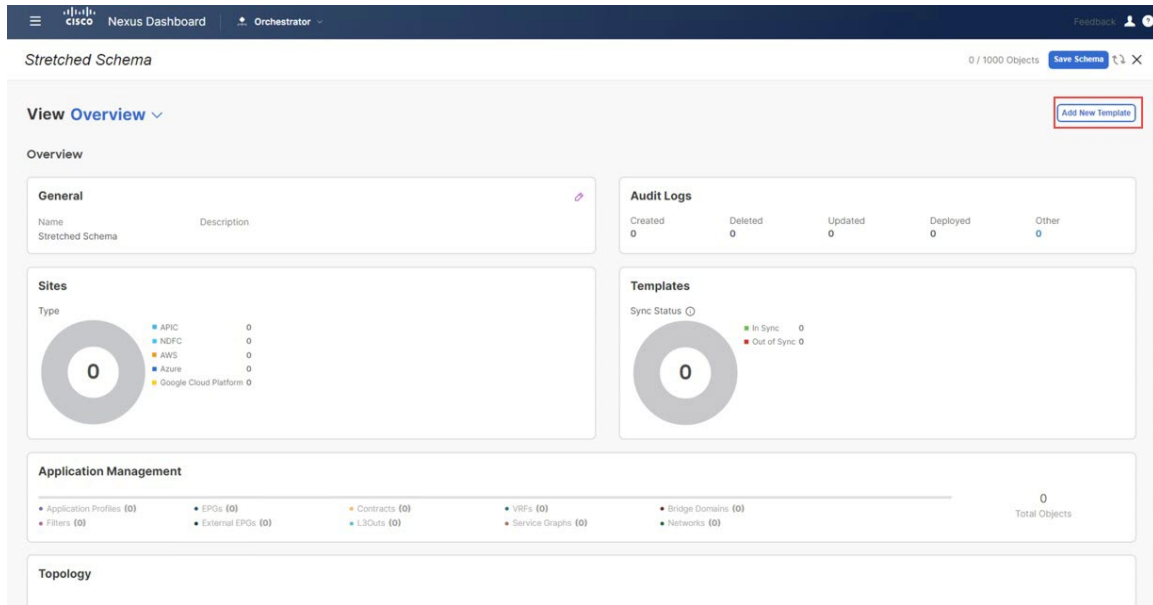


新しい [ストレッチ スキーマ (Stretched Schema)] スキーマの [概要 (Overview)] ページに戻ります。

ステップ 3 [新しいテンプレートを追加 (Add New Template)] をクリックします。

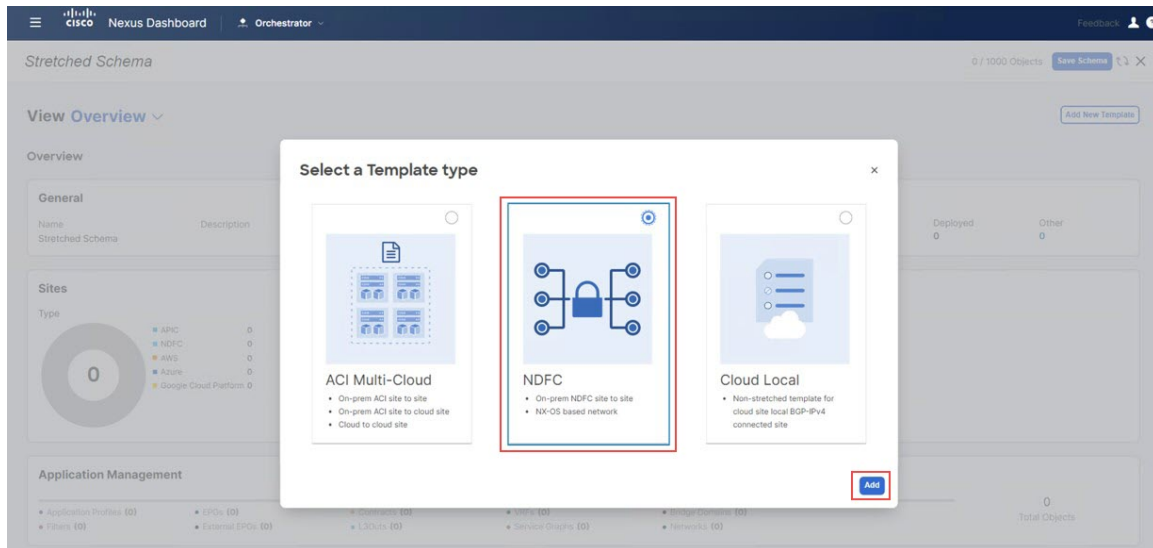
ストレッチされた VRF ユース ケースの構成

図 4:



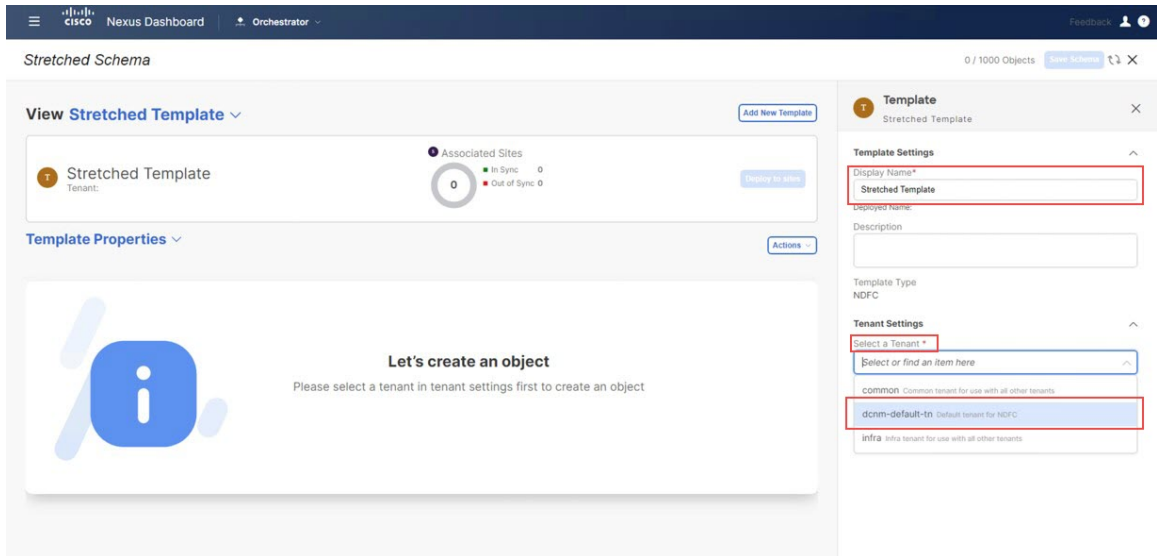
- ステップ 4** NDFC テンプレートを選択し、[追加 (Add)] をクリックします。
 オンプレミスおよびクラウドサイトには、NDFC テンプレート タイプを使用する必要があります。

図 5:



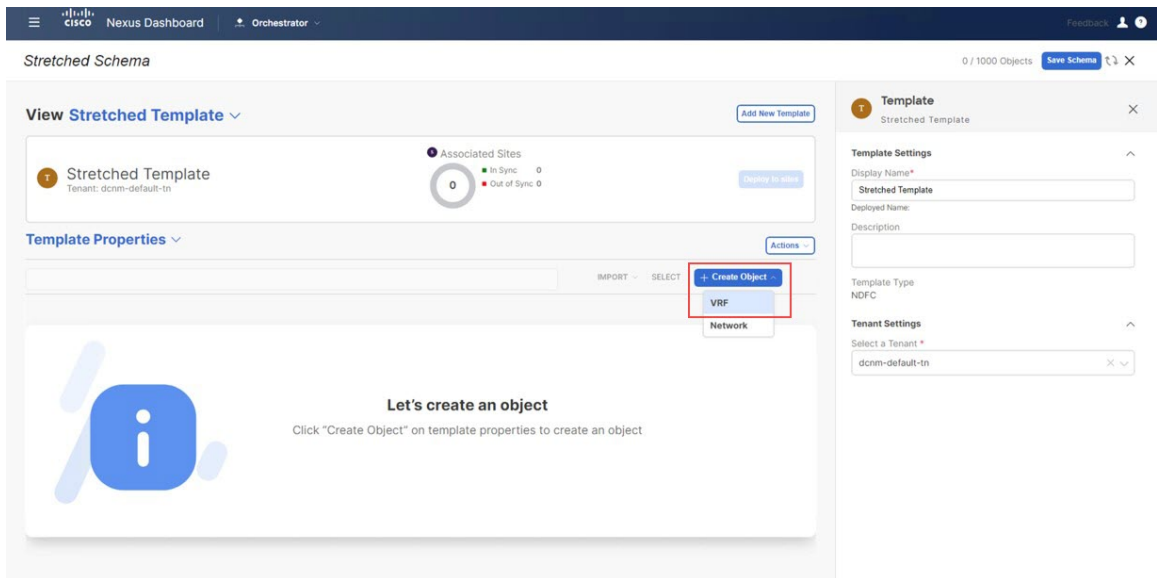
- ステップ 5** [表示名 (Display Name)] フィールドに名前を入力して NDFC タイプのテンプレート (たとえば、ストレッチされたテンプレート) を作成し、[テナントの選択 (Select a Tenant)] フィールドで dcnm-default-tn テナントを選択して、テンプレートをそのテナントにマップします。

図 6:



ステップ 6 [テンプレート プロパティ (Template Properties)] で [オブジェクトの作成 (Create Object)] をクリックし、[VRF] を選択して、全てのサイトにストレッチされた VRF を作成します。

図 7:

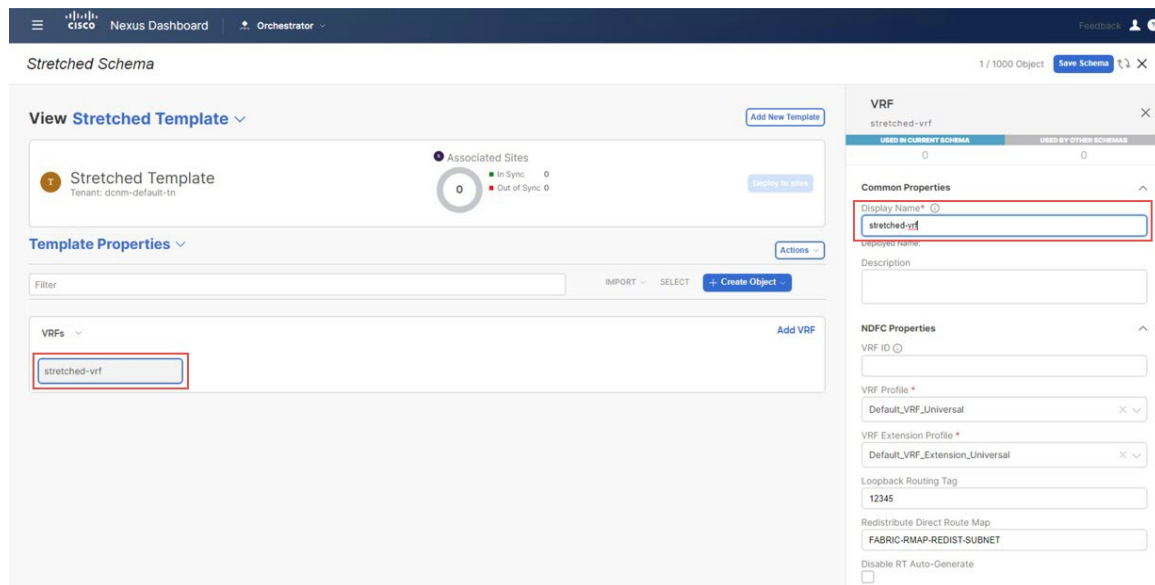


(注) 新しい VRF を作るより、既に使用したいオンプレミス VRF を作成した場合、[テンプレート プロパティ (Template Properties)] の下、[インポート (Import)] をクリックします。そして既に作成された VRF をインポートします。

現在、オンプレミスサイトからの VRF とネットワークのインポートのみがサポートされています。

ステップ 7 ストレッチされた VRF の [表示名 (Display Name)] フィールドに名前を入力します (例: stretched-vrf)。

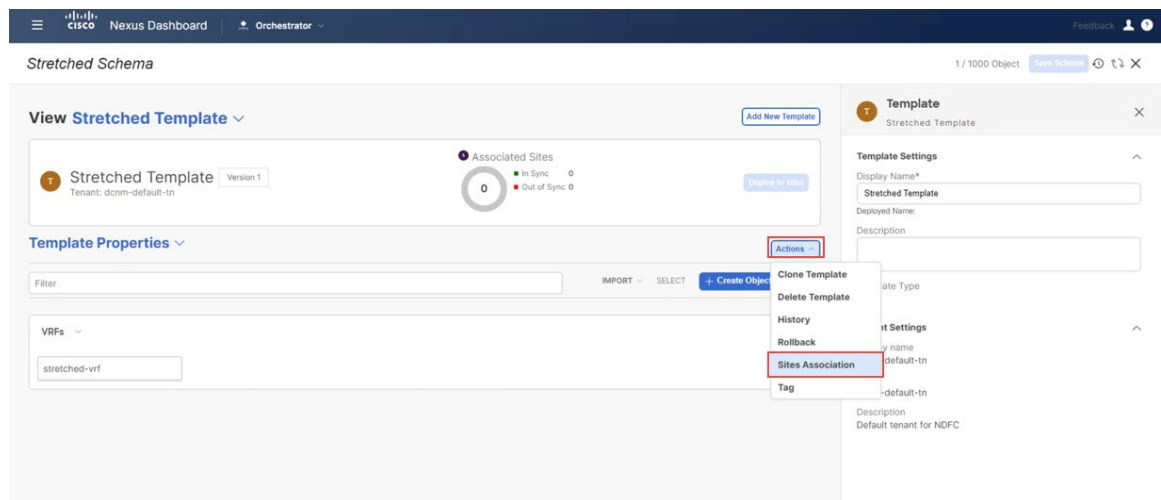
図 8:



ステップ 8 拡張 VRF ユース ケースの [ストレッチされたテンプレート (Stretched Template)] にすべてのサイト (オンプレミスおよびクラウドサイト) を関連付けます。

- a) [テンプレート プロパティ (Template Properties)] エリア内で [アクション (Actions)] > [サイトの関連付け (Sites Association)] をクリックします。

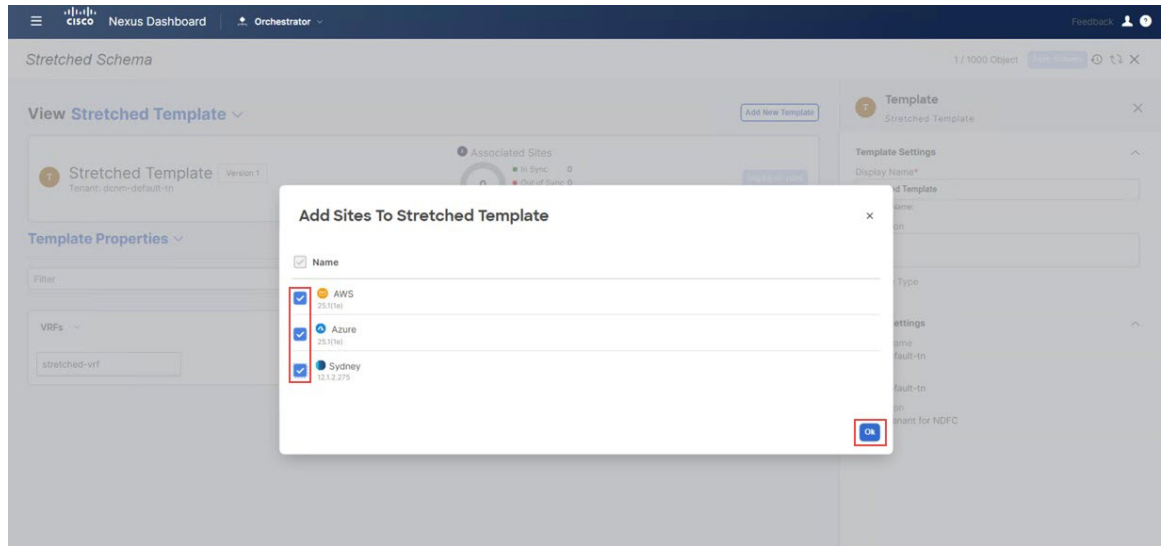
図 9:



- b) すべてのサイトを選択し、[OK] をクリックします。

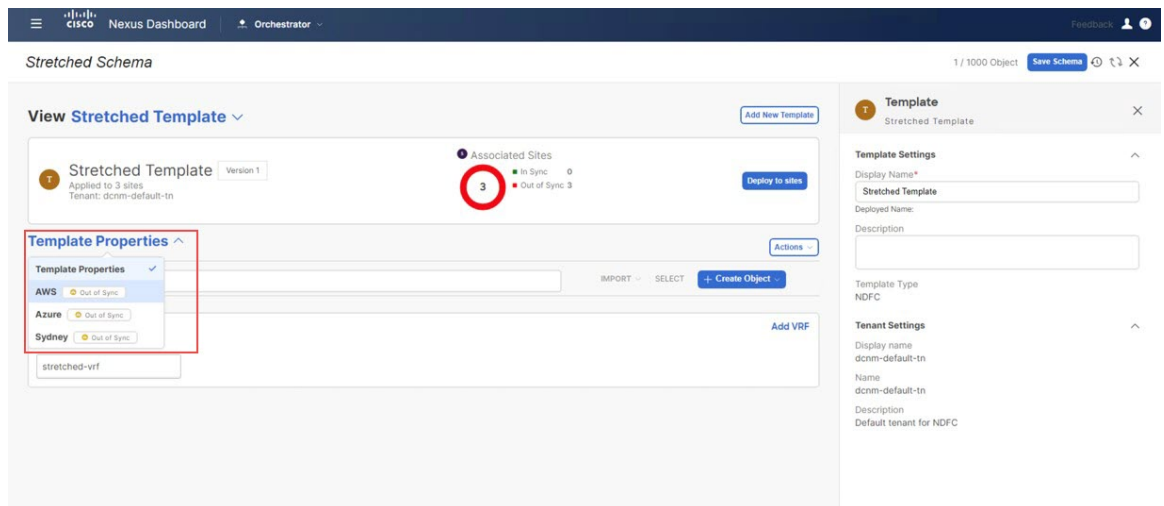
これにより、各サイトを個別に選択して、このテンプレートで定義されたオブジェクト (この特定のケースでは、拡張された VRF) のサイト レベルの構成をプロビジョニングすることもできます。

図 10:



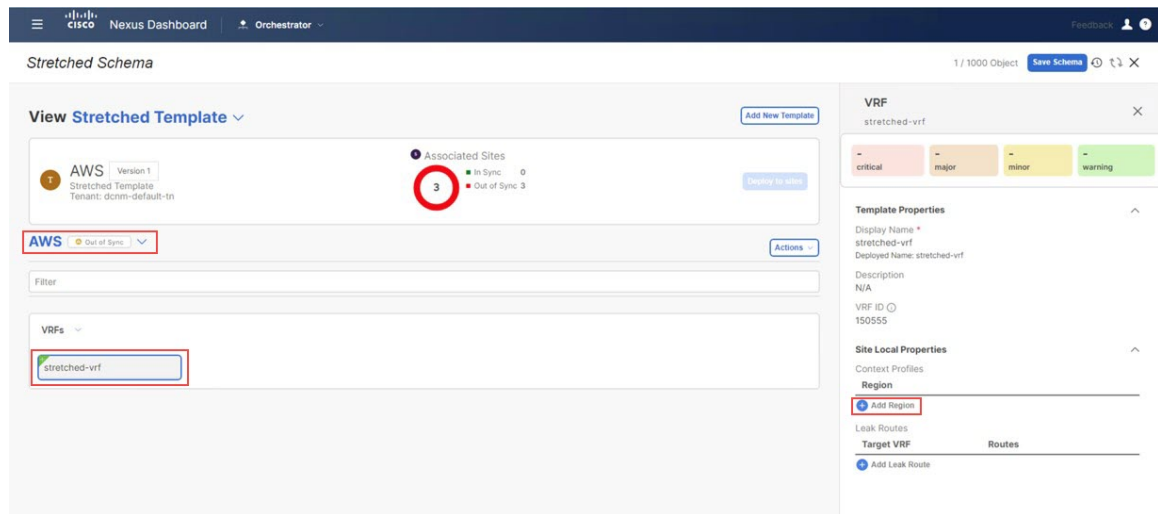
サイトがテンプレートに関連付けられると、それらは [テンプレートのプロパティ (Template Properties)] の下に表示されます。

図 11:



- ステップ 9** [テンプレートのプロパティ (Template Properties)] をクリックして最初のクラウドサイト (このユースケースの例では AWS サイト) を選択し、VRF を適切なリージョンに関連付けて VPC を作成します。
- VRF をクリックし、[リージョンの追加 (Add Region)] をクリックして、選択したリージョンに VPC を作成します。

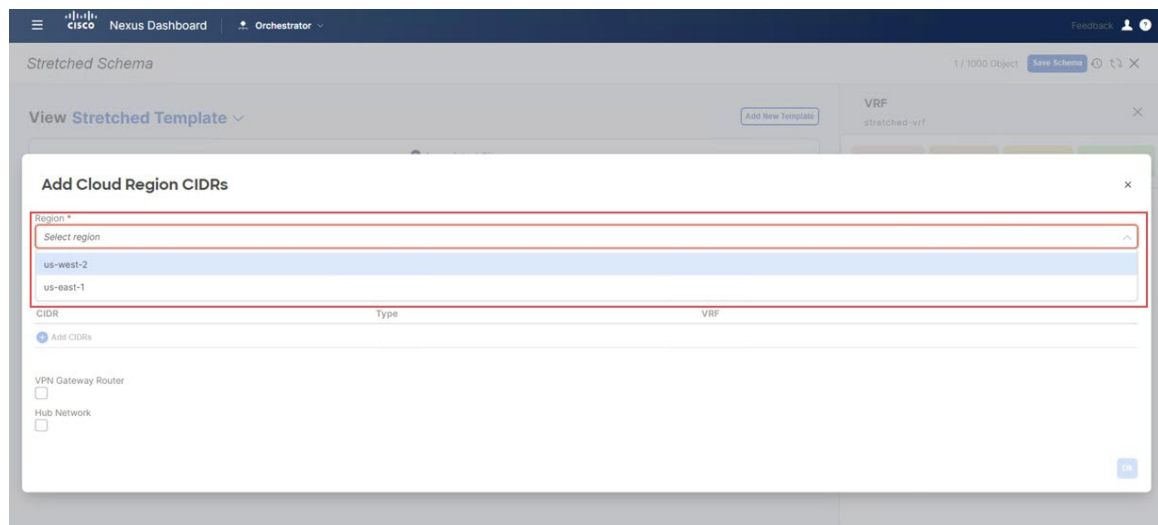
図 12:



[クラウドリージョン CIDRs を追加 (Add Cloud Region CIDRs) ウィンドウ が表示されます。

- b) [リージョン (Region)]フィールド内で VPC を作成したいリージョンを選択します。

図 13:



- c) **CIDR**フィールド内で**[CIDR を追加 (Add CIDRs)]**をクリックし、VPCの CIDR ブロックを定義します。
- d) サブネットを作成するためと可用性ゾーンにマップするために**[サブネットを追加 (Add Subnet)]**をクリックし、**[保存 (Save)]**をクリックします。

図 14:

The screenshot shows the 'Add Cloud Region CIDRs' dialog in the Cisco Nexus Dashboard Orchestrator. The 'Region' is set to 'us-west-2'. The 'Container Overlay' checkbox is unchecked. The 'CIDRs' section contains a table with the following data:

CIDR	Type	VRF
10.230.0.0/16	Primary	

Below the table, there is an 'Add Subnets' section with a table:

Subnet	Name	Private Link Labels	Availability Zone
10.230.1.0/24			us-west-2a
10.230.2.0/24			us-west-2b

Buttons for 'Cancel' and 'Save' are visible at the bottom of the dialog.

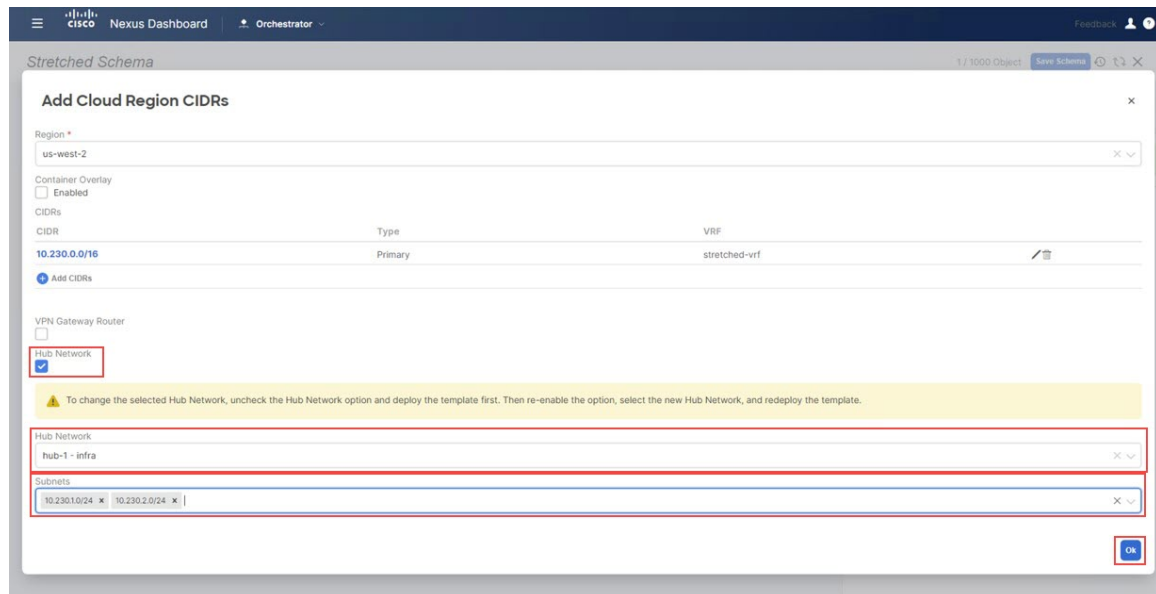
- e) **[ハブ ネットワーク (Hub Network)]** フィールドの下にあるチェックボックスをオンにして、AWS 用の Cisco クラウド ネットワーク コントローラで作成されたハブ ネットワークを選択します。

Cisco クラウド ネットワーク コントローラがサブネットをトランジット ゲートウェイに付加することを許可します。これは、トランジット ゲートウェイが既に接続のあるサブネットからクラウド上の Cisco Catalyst 8000Vs にトランジット ゲートウェイに接続を積み上げます。

- f) **[サブネット (Subnet)]** フィールド内でトランジット ゲートウェイに使われるサブネットをマップします。

トランジット ゲートウェイに専用のサブネットを使用するのがベストプラクティスです。

図 15:



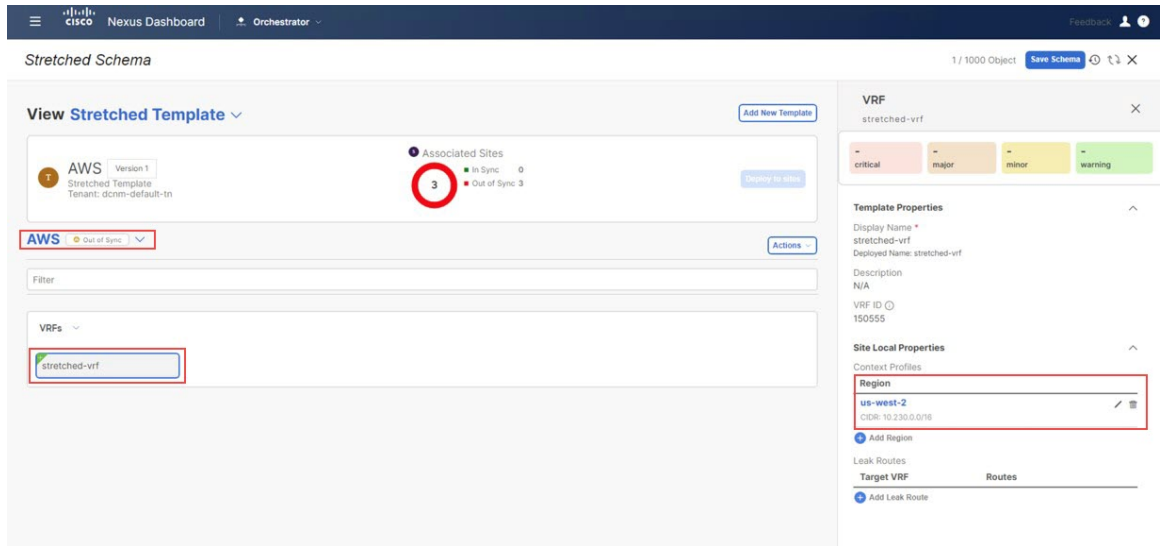
(注) または、ハブネットワーク (TGW) への接続に、アベイラビリティゾーンごとに専用の /25 サブネットを使用できます。これにより、エンドポイントサブネット全体をエンドホストに使用できるようになります。

g) [OK] をクリックします。

AWS テンプレート ウィンドウに戻ります。

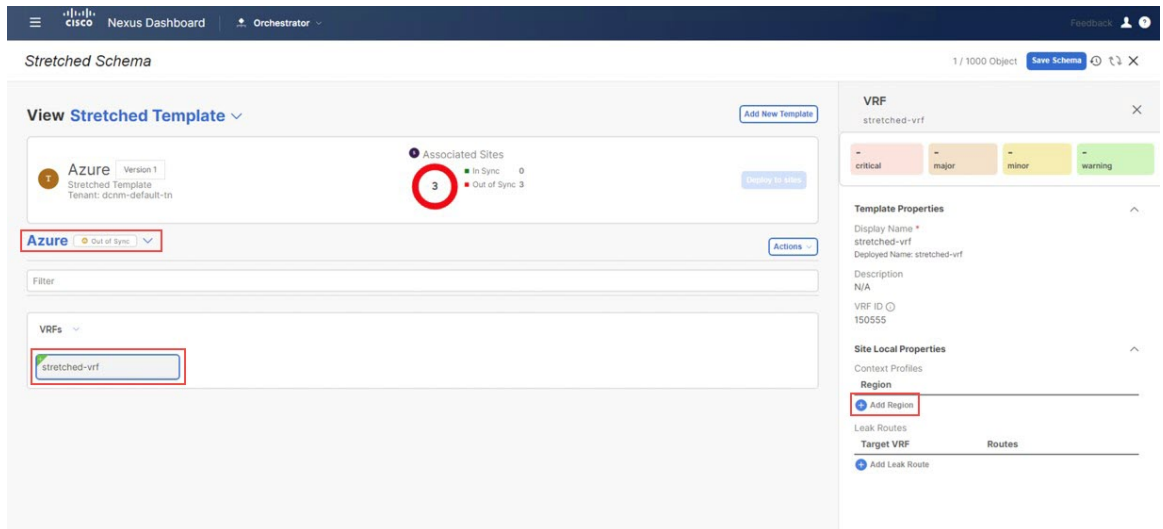
この構成が展開されると、CIDR 10.230.0.0/16 の VPC が AWS クラウドに作成され、us-west-2a と us-west-2b の可用性ゾーンにまたがり、10.230.1.0/24 と 10.230.2.0/24 サブネットがそれぞれ作成されます。

図 16:



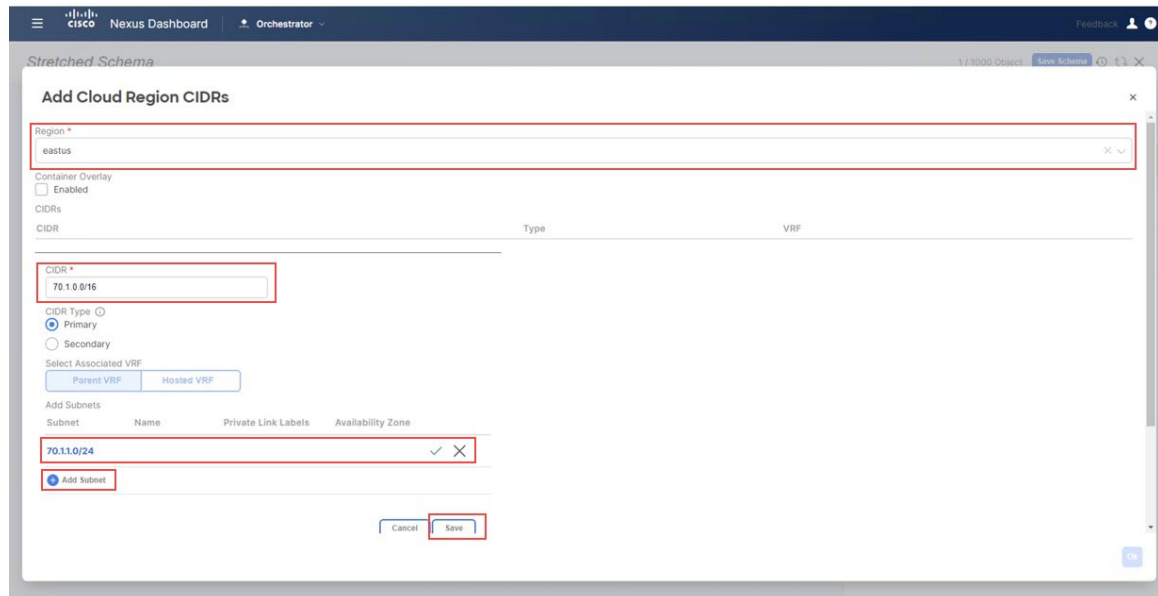
- ステップ 10 [テンプレートのプロパティ (Template Properties)] をクリックして 2 番目のクラウドサイト (このユースケースの例では Azure サイト) を選択し、VRF を適切なリージョンに関連付けて VNet を作成します。
- VRF をクリックし、[リージョンの追加 (Add Region)] をクリックして、選択したリージョンに VNet を作成します。

図 17:



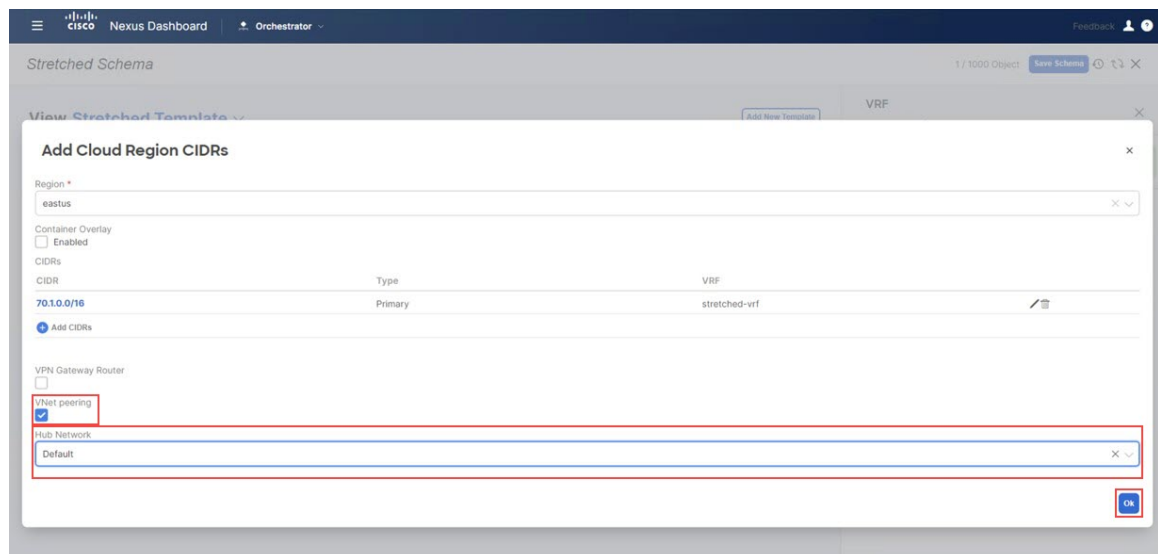
- [クラウドリージョン CIDRs を追加 (Add Cloud Region CIDRs)] ウィンドウが表示されます。
- [リージョン (Region)] フィールド内で VNet を作成したいリージョンを選択します。
 - CIDR フィールド内で [CIDR を追加 (Add CIDRs)] をクリックし、VNet の CIDR ブロックを定義します。
 - サブネットを作成するために [サブネットを追加 (Add Subnet)] をクリックし、[保存 (Save)] をクリックします。

図 18:



- e) [VNet ピアリング (VNet Peering)] フィールドの下にあるチェックボックスをオンにして、Azure 用の Cisco クラウドネットワーク コントローラで作成された [デフォルト (Default)] ハブ ネットワークを選択します。

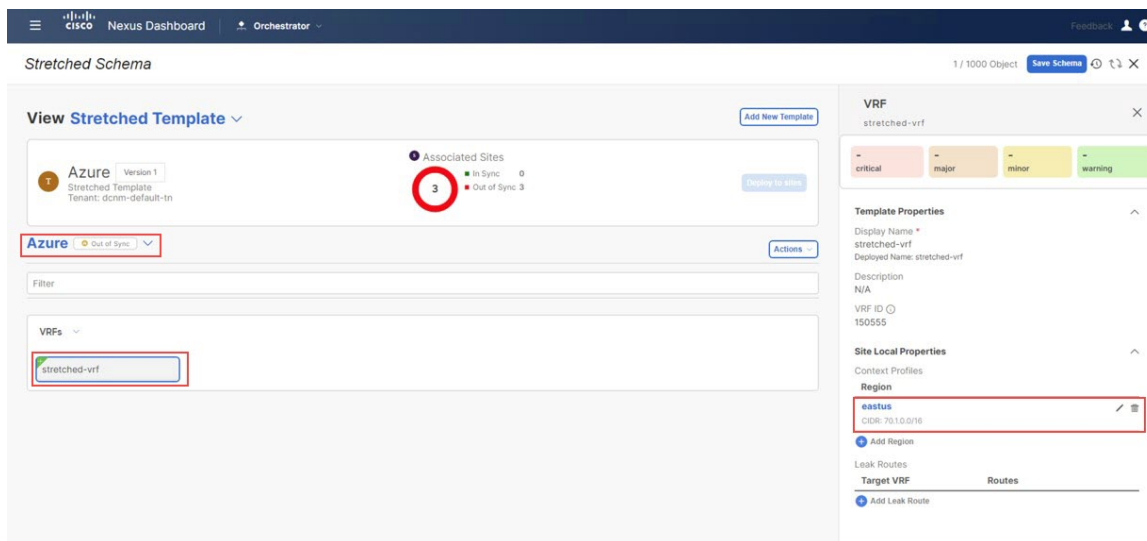
図 19:



- f) [OK] をクリックします。

この構成が展開されると、構成した VNet (この例では 70.1.0.0/16) が Azure の適切なリージョン (この例では eastus Azure リージョン) に作成され、VNet ピアリングが Azure のインフラ テナント内のインフラ VNet に構成されます。

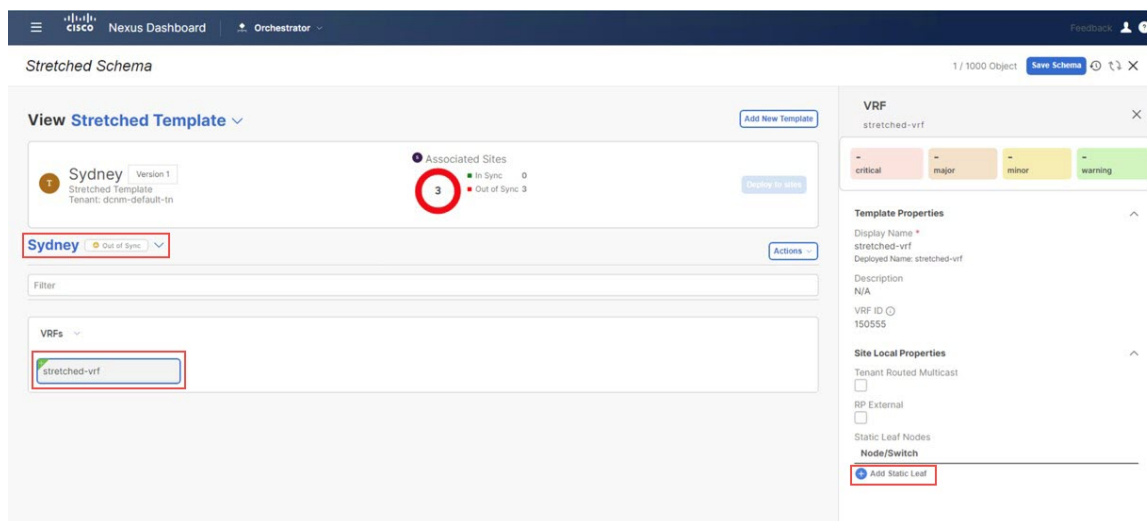
図 20:



ステップ 11 [テンプレート プロパティ (Template Properties)] をクリックし、オンプレミス サイト (このユース ケースの例では シドニー サイト) を選択してから、stretched-vrf VRF を選択します。

ステップ 12 右側のペインで [静的リーフの追加 (Add Static Leaf)] をクリックします。

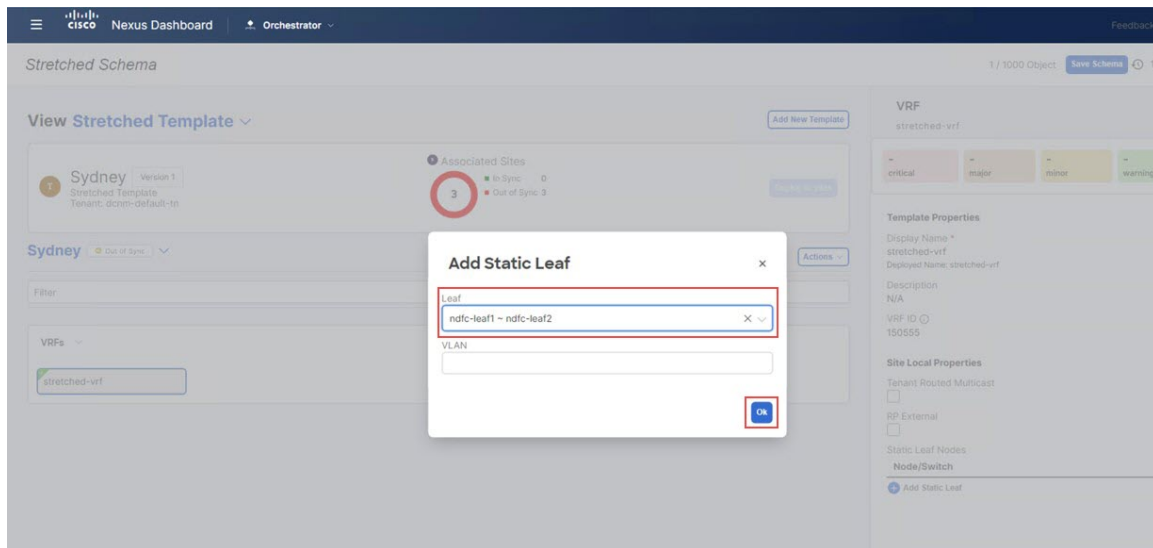
図 21:



[静的リーフの追加 (Add Static Leaf)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 13 [リーフ (Leaf)] フィールド内で、VRF が展開されるべき場所のリーフ/ボーダー/ボーダーゲートウェイ デバイスを選択し、Ok をクリックします。

図 22:

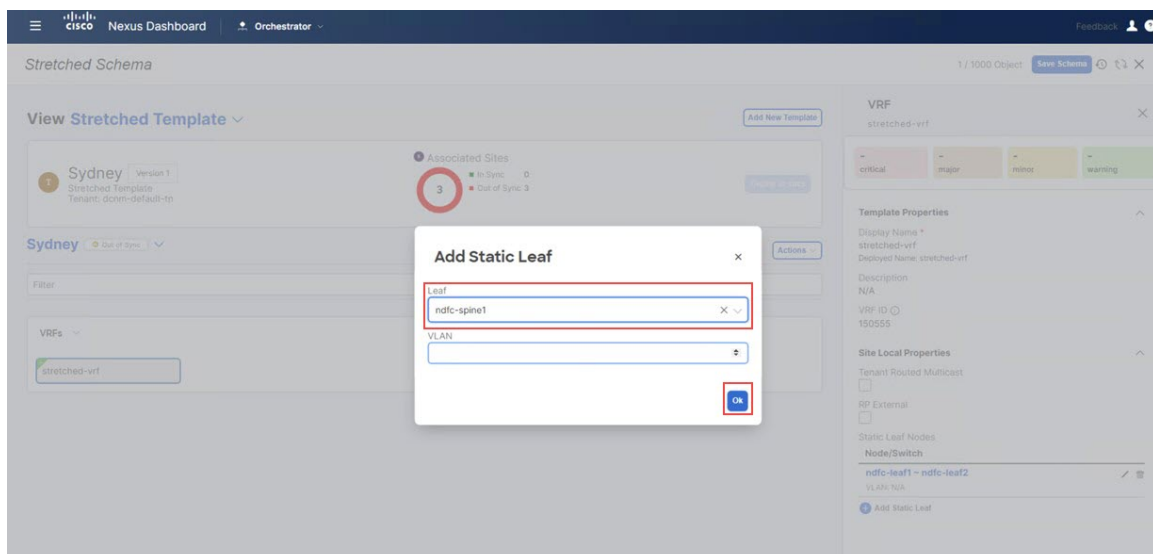


[ストレッチされたテンプレート (Stretched Template)] ページに戻ります。

ステップ 14 [静的リーフの追加 (Add Static Leaf)] を再度クリックして、この VRF が展開される追加のリーフ/境界/境界ゲートウェイ デバイスを追加します。

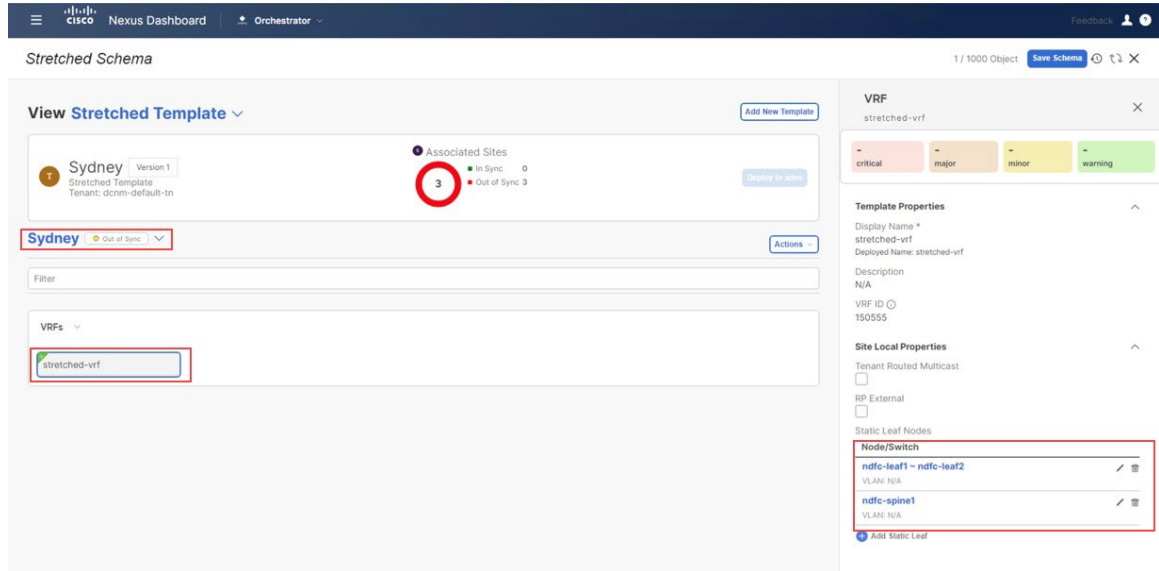
この例では、リーフ ノードに VRF を展開する必要があります (VRF にマップされたネットワークのエンドポイントに接続される)。そして、VRF からクラウドサイトへのレイヤー 3 接続に拡張するために BGW スパイン ノードを展開する必要があります。

図 23:



この VRF が展開されるすべてのリーフ/ボーダー/ボーダー ゲートウェイ デバイスを追加すると、[ストレッチされたテンプレート (Stretched Template)] ページに表示されます。

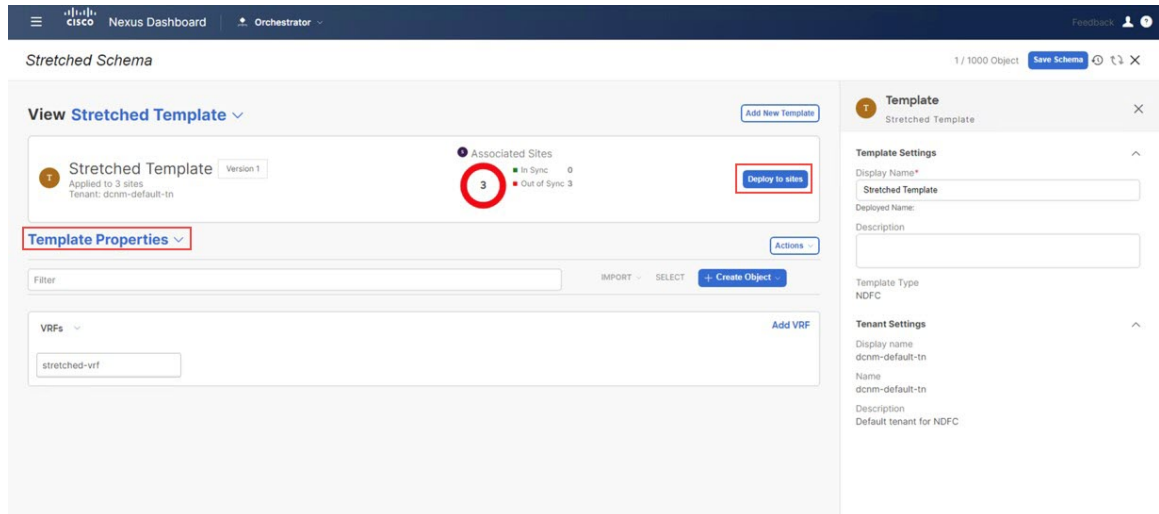
図 24:



ステップ 15 シドニーサイトの横にある矢印をクリックし、ドロップダウンメニューから[テンプレートのプロパティ (Template Properties)] を選択します。

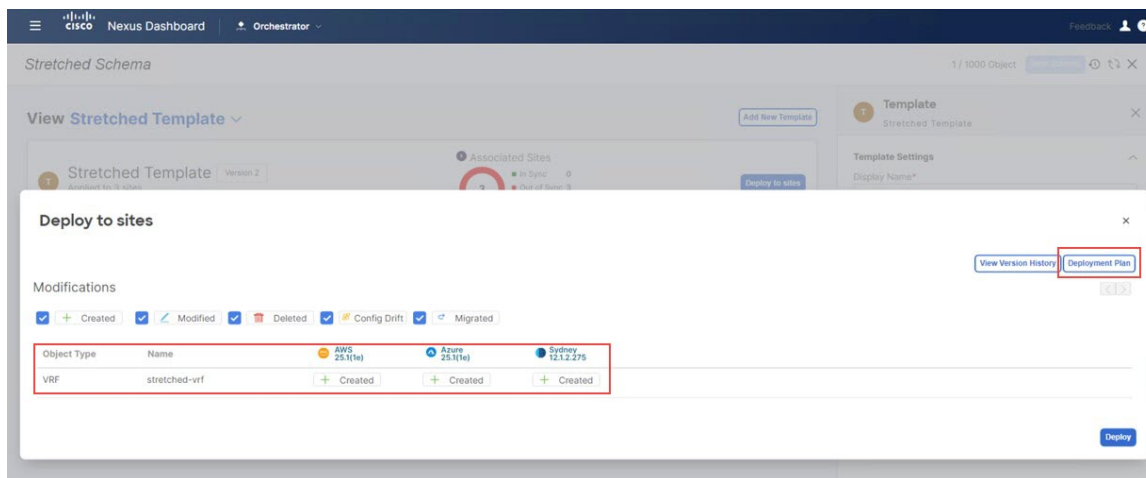
ステップ 16 [サイトに展開 (Deploy to sites)] をクリックします。

図 25:



[サイトに展開 (Deploy to Sites)] ウィンドウが表示され、拡張されたテンプレートが展開される 3 つのサイトが表示されます。

図 26:



ステップ 17 [展開プラン (Deployment Plan)] を追加認証のためにクリックします。そして、その特定のサイトの展開プランを表示するために各サイトをクリックします。

図 27:

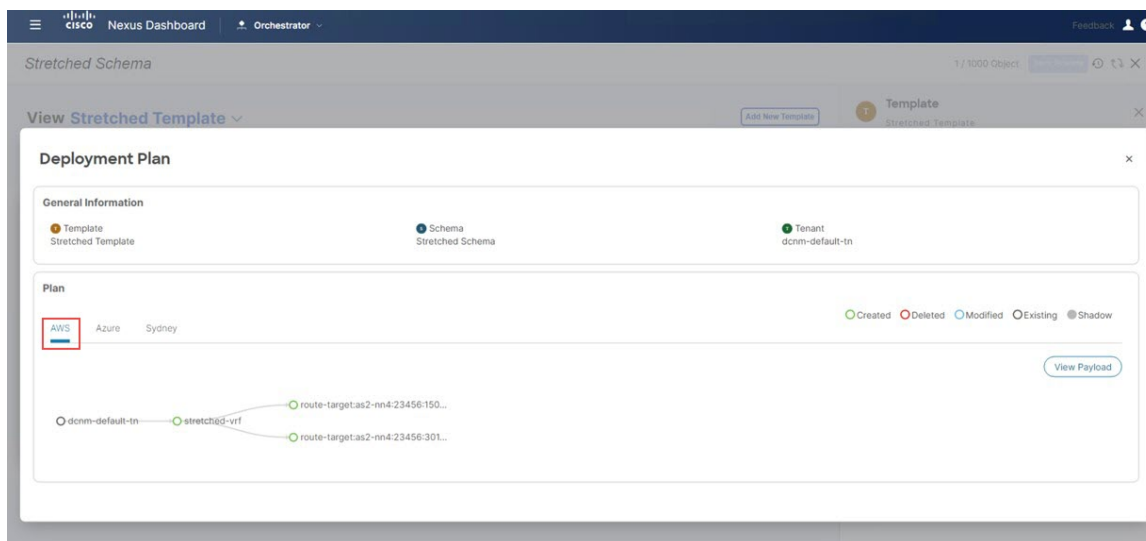


図 28:

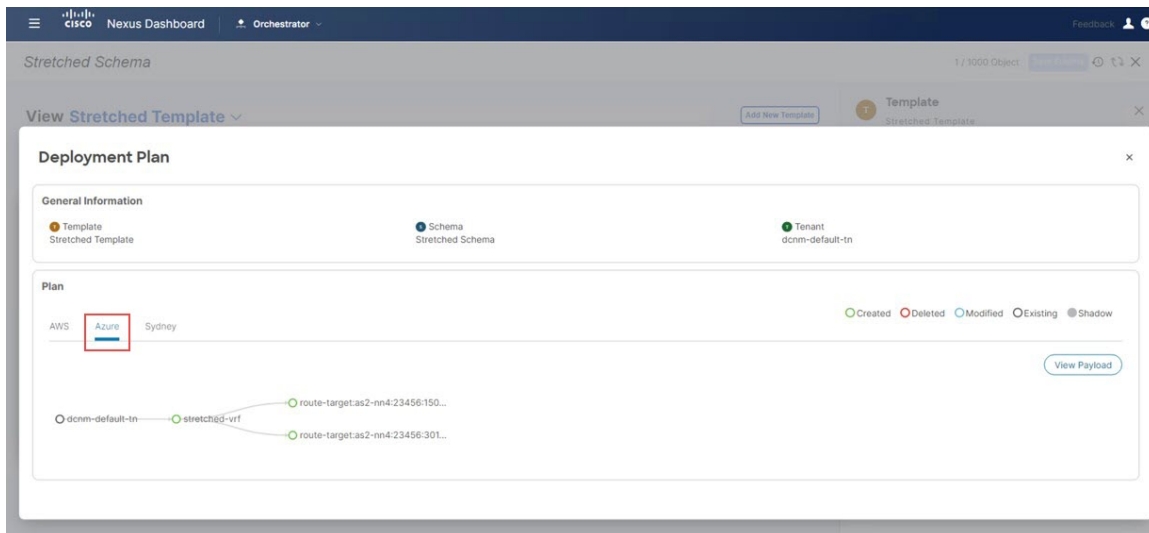
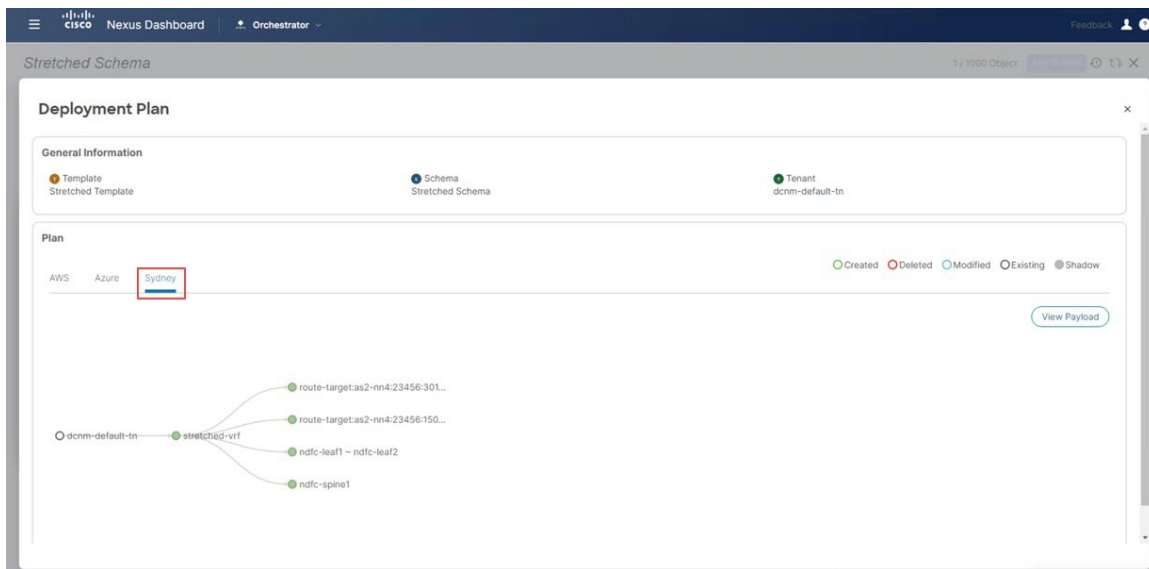
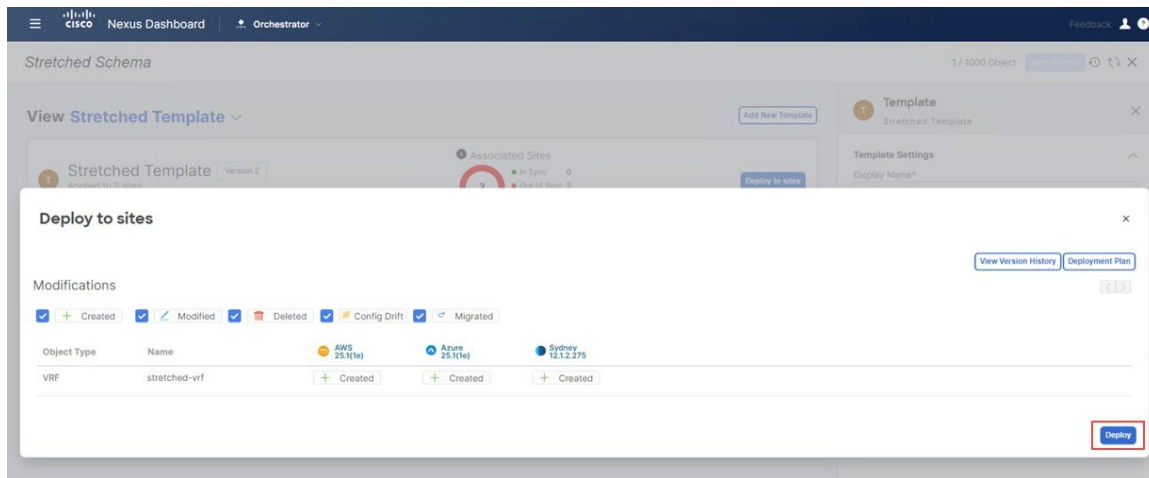


図 29:



ステップ 18 [展開 (Deploy)] を NDO が構成をサイト固有のコントローラ (NDFC とクラウドネットワーク コントローラ) にプッシュするためにクリックします。

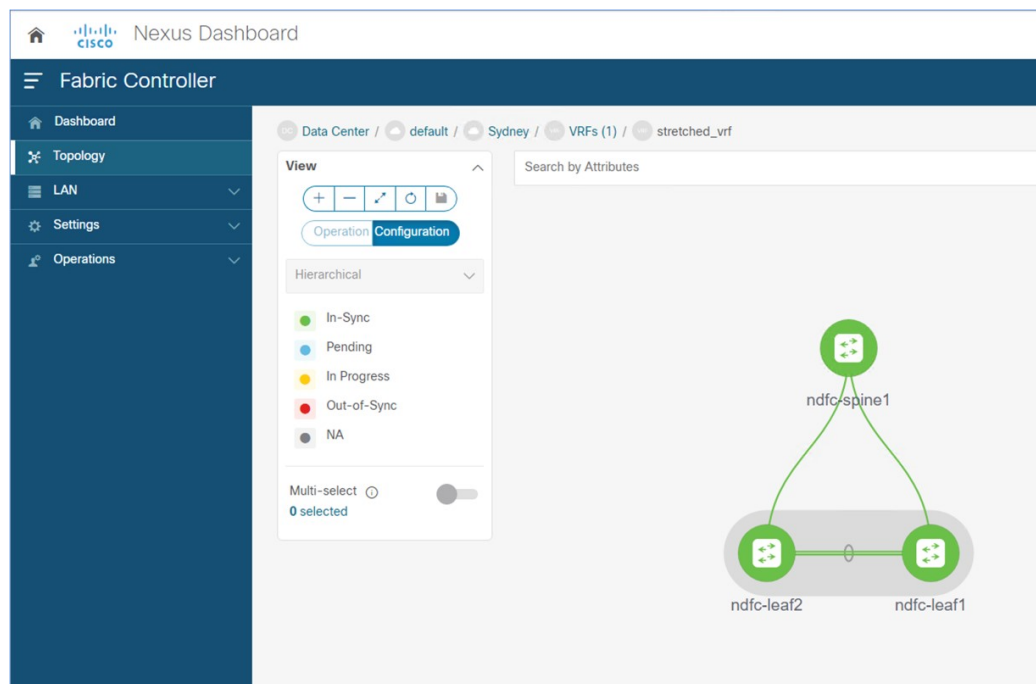
図 30:



ステップ 19 構成が正常に展開されたことを確認します。

- NDFC での VRF 展開を表示するには、[トポロジ (Topology)] ビューに移動し、オンプレミス ファブリックの[シドニー (Sydney)] > VRF を選択してから、stretched-vrf を選択します。

図 31:



- AWS に展開されたクラウドネットワークコントローラに接続して、最初のクラウドサイト (AWS) の構成が正常に展開されたことを確認します。

[アプリケーション管理 (Application Management)] > VRF に移動し、stretched-vrf を見つけて、列 VPC をクリックしてから、[概要 (Overview)] ページに移動して、[サブネット (Subnets)] をクリックします。

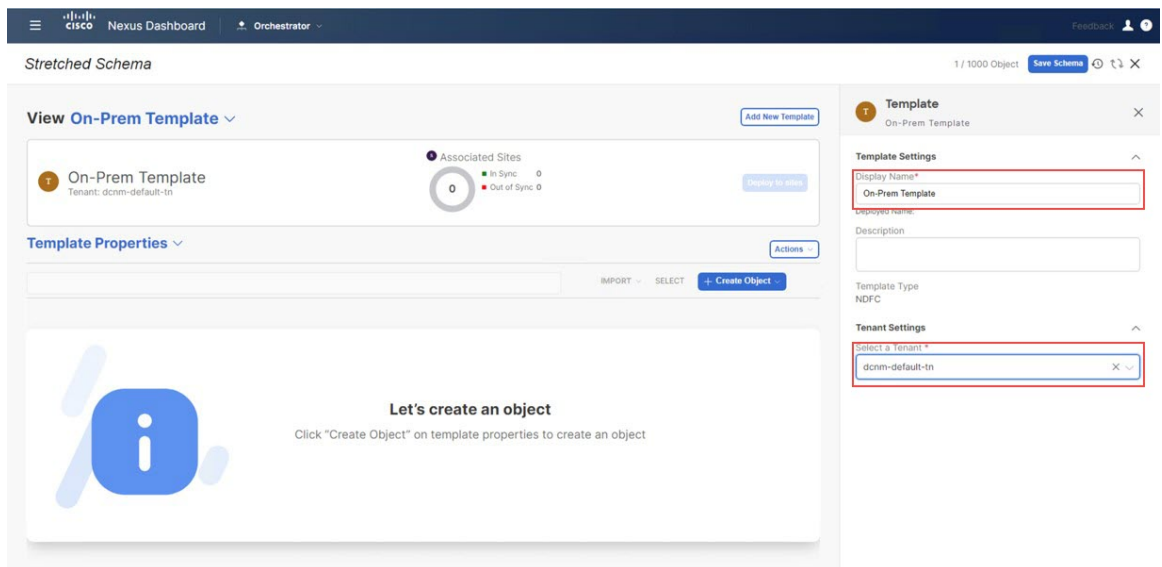
- Azure に展開されたクラウド ネットワーク コントローラに接続して、2 番目のクラウド サイト (Azure) の構成が正常に展開されたことを確認します。

[アプリケーション管理 (Application Management)] > VRF に移動し、stretched-vrf を見つけて、列 [仮想ネットワーク (Virtual Networks)] をクリックしてから、[概要 (Overview)] ページに移動して、[サブネット (Subnets)] をクリックします。

ステップ 20 オンプレミス サイトにネットワークを展開するために、[デモ スキーマ (Demo Schema)] の下に別のテンプレートを作成します。

- [デモ スキーマ (Demo Schema)] テンプレートで、[新しいテンプレートの追加 (Add New Template)] をクリックします。
- NDFC テンプレートを選択します。
- [表示名 (Display Name)] フィールドに名前を入力して NDFC タイプのテンプレート (たとえば、On-Prem テンプレート) を作成し、[テナントの選択 (Select a Tenant)] フィールドで dcnm-default-tn テナントを選択して、テンプレートをそのテナントにマップします。

図 32:



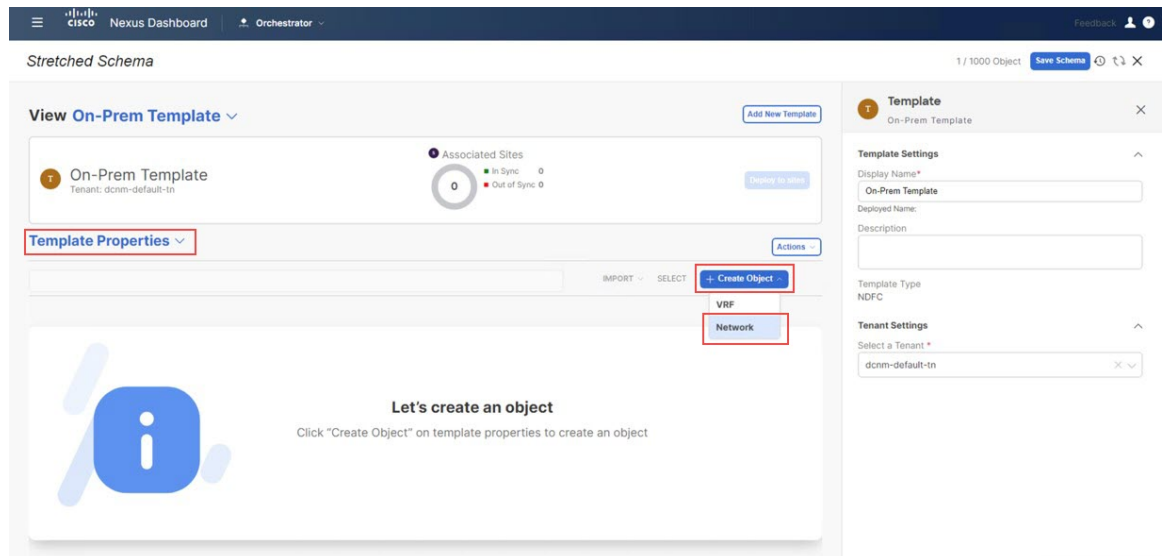
ステップ 21 On-Prem テンプレートの VRF の下に net20 ネットワークを作成します。

(注) 新しい VRF を作るより、既に使用したい VRF を作成した場合、[テンプレート プロパティ (Template Properties)] の下、[インポート (Import)] をクリックします。そして既に作成された ネットワーク をインポートします。

- [テンプレート プロパティ (Template Properties)] の下、[オブジェクトを作成 (Create Object)] をクリックしてネットワークを作成するために [ネットワーク (Network)] を選択します。

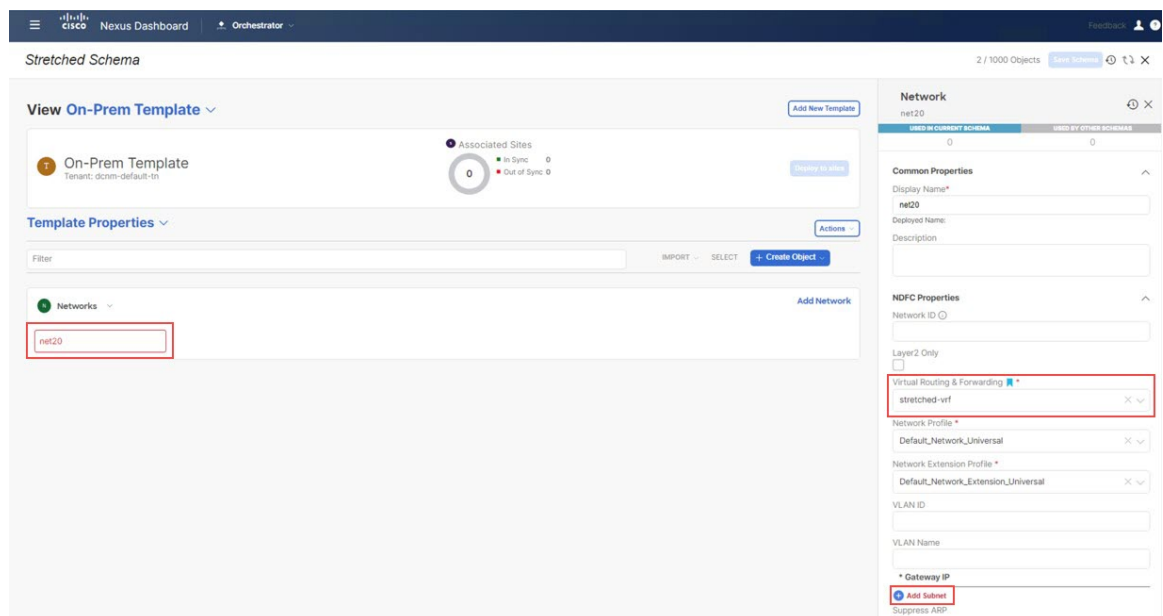
ストレッチされた VRF ユース ケースの構成

図 33:



- b) ネットワークの [表示名 (Display Name)] フィールドに名前を入力します (例: net20)。
- c) [バーチャルルートと転送 (Virtual Routing & Forwarding)] フィールドで、stretched-vrf VRF を選択して、net20 をその VRF にマッピングします。

図 34:

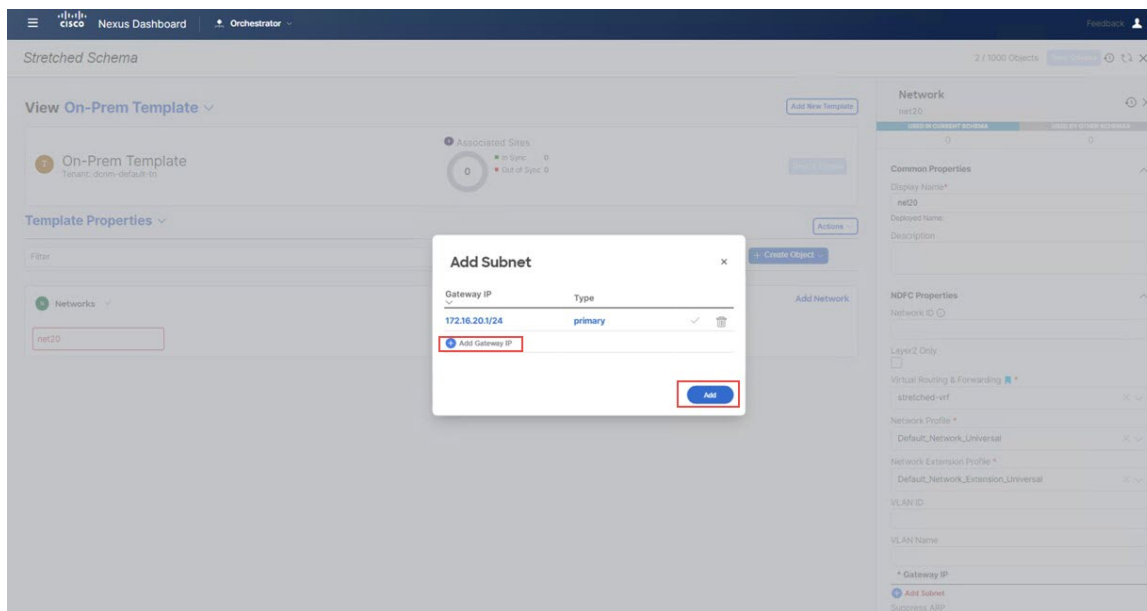


- d) [ゲートウェイ IP (Gateway IP)] フィールドで、[サブネットの追加 (Add Subnet)] をクリックします。

サブネットの追加ウィンドウが表示されます。

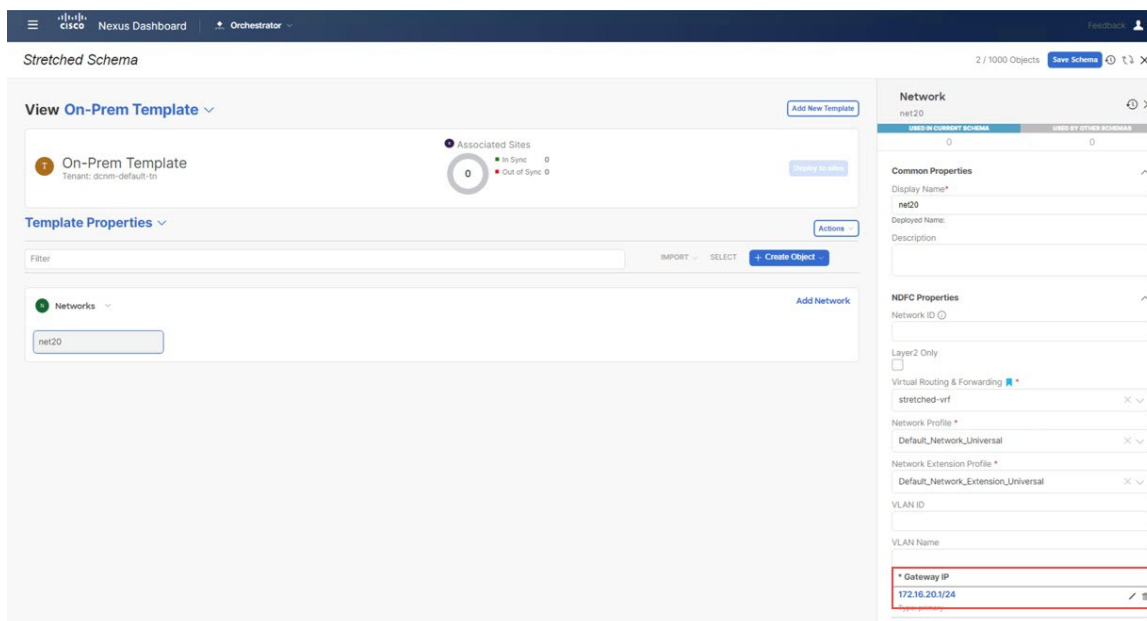
- e) [ゲートウェイ IP の追加 (Gateway IP)] をクリックしてゲートウェイ IP アドレスを入力し、チェックマークをクリックして値を受け入れ、[追加 (Add)] をクリックします。

図 35:



ゲートウェイ IP アドレスは[ゲートウェイ IP (Gateway IP)] フィールドに表示されます。

図 36:

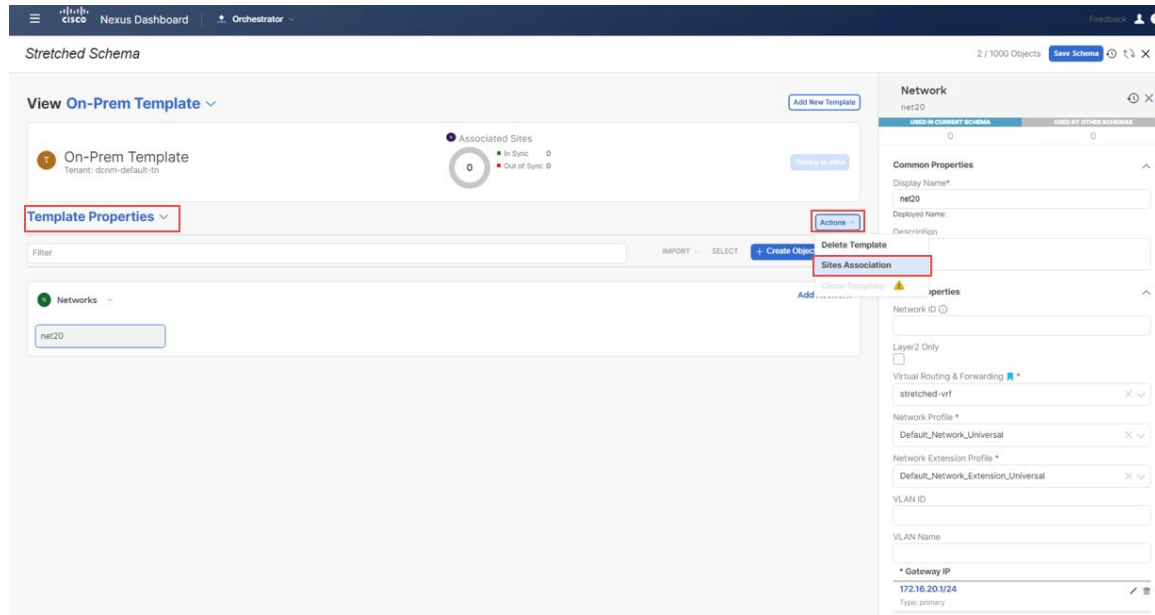


- f) 必要な場合、ネットワークのオプション パラメータを定義します。

ストレッチされた VRF ユース ケースの構成

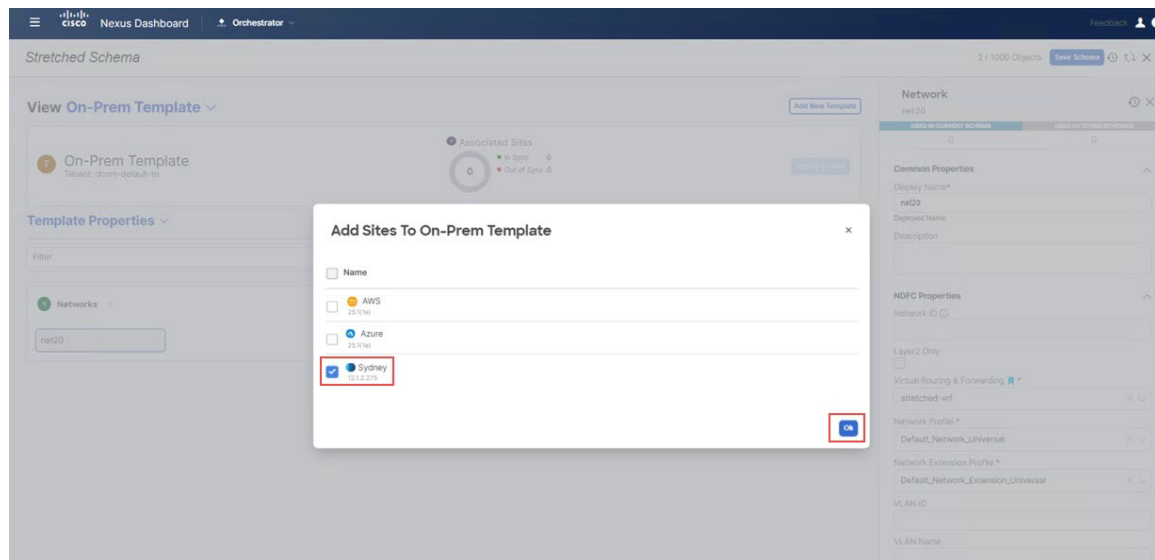
ステップ 22 [テンプレート プロパティ (Template Properties)] エリア内で [アクション (Actions)] > [サイトの関連付け (Sites Association)] をクリックします。

図 37:



ステップ 23 このテンプレートをオンプレミス サイト (このユース ケースの例ではシドニー サイト) にのみ関連付け、[OK] をクリックします。

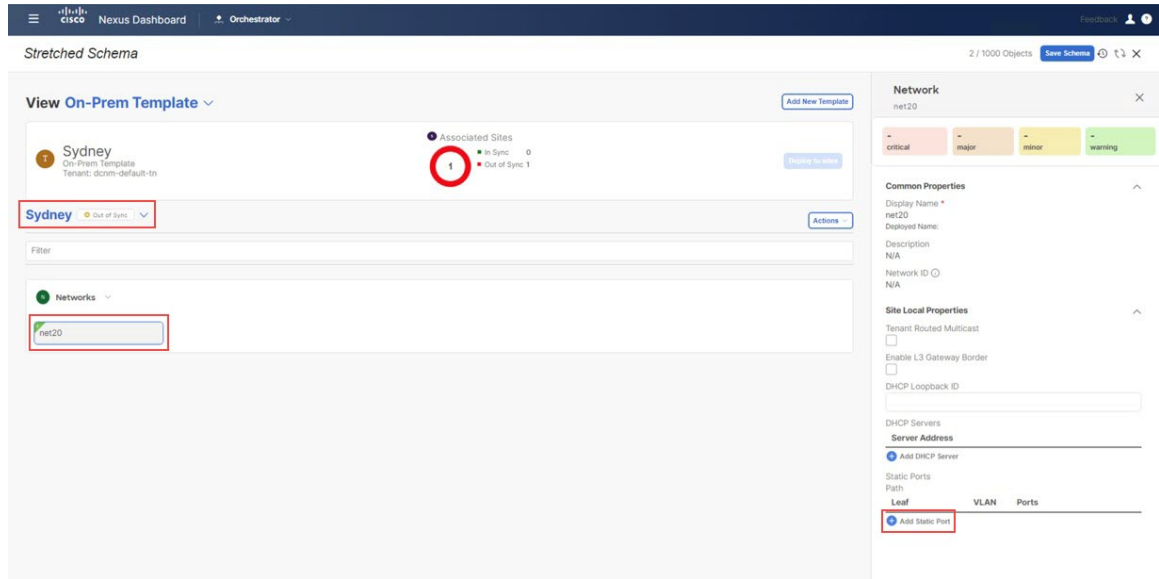
図 38:



[On-Prem テンプレート (On-Prem Template) ウィンドウに戻ります。

ステップ 24 [テンプレート プロパティ (Template Properties)] ドロップダウンから、オンプレミス サイト (このユース ケースの例ではシドニー サイト) を選択し、net20 ネットワークをクリックしてから、[静的ポートの追加 (Add Static Port)] をクリックして、このネットワークを展開するポートを追加します。[静的ポートの追加 (Add Static Port)] ウィンドウが表示されます。

図 39:



ステップ 25 [静的ポートの追加 (Add Static Port)] ウィンドウで[パスを追加 (Add Path)] をクリックします。[静的ポートの追加 (Add Static Port)] ウィンドウが表示されます。

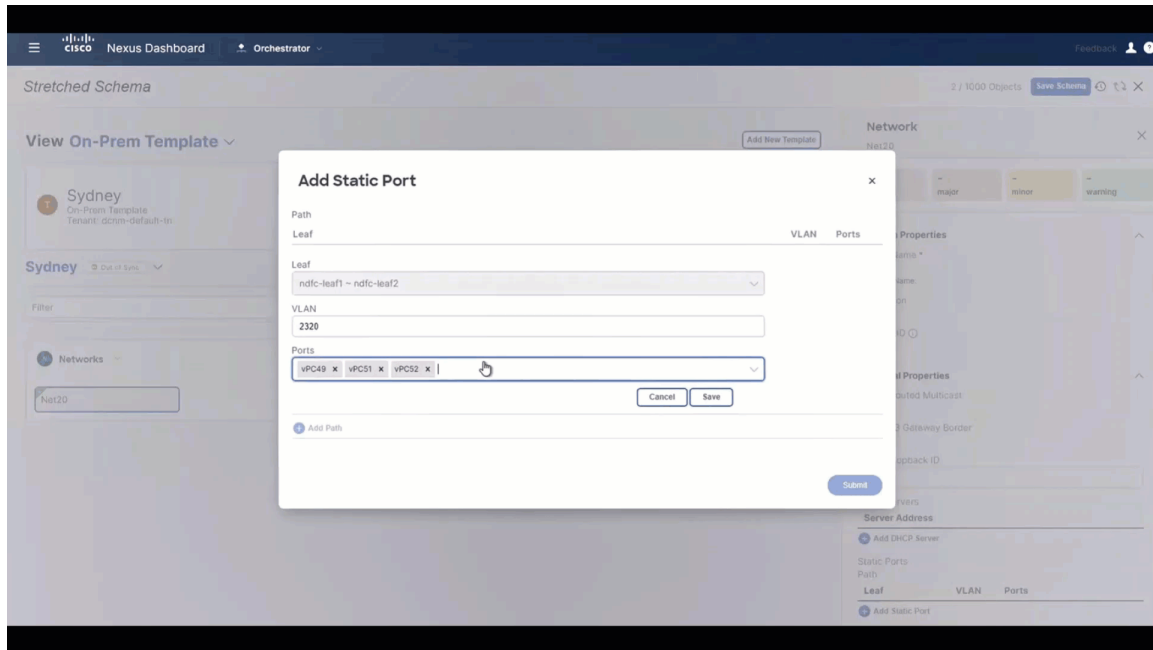
ステップ 26 [リーフ (Leaf)] フィールドで展開したいネットワークのデバイスを選択します。

ステップ 27 (任意) VLAN フィールドに必要な情報を入力します。

ステップ 28 [ポート (Port)] フィールドで展開したいネットワークのポートを選択します。

ステップ 29 [保存 (Save)] をクリックします。

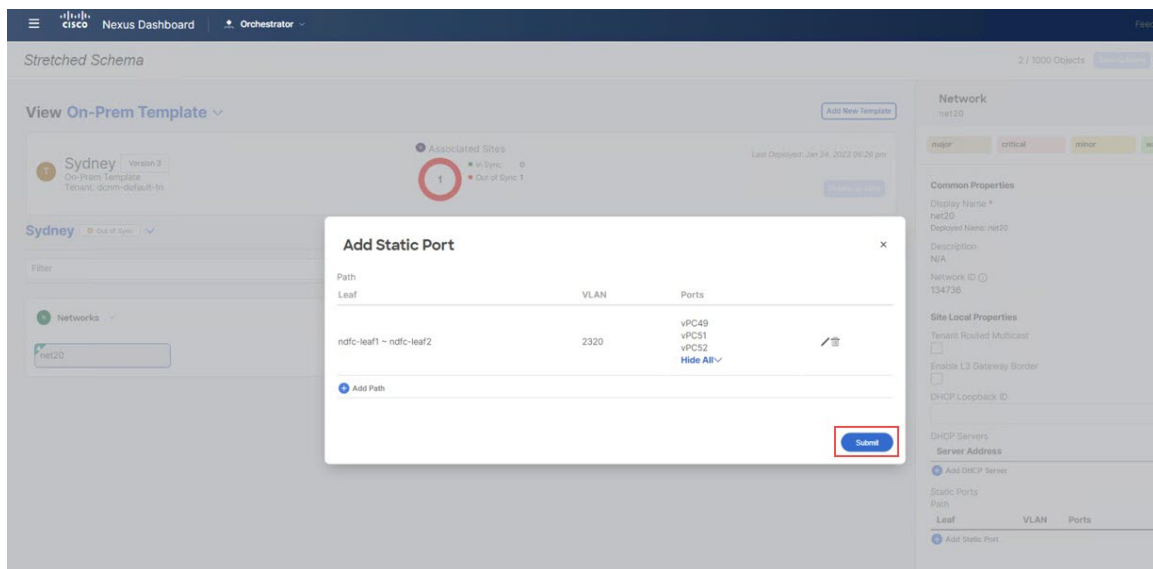
図 40:



[静的ポートの追加 (Add Static Port)] ウィンドウに戻ります。

ステップ 30 [静的ポートの追加 (Add Static Port)] ウィンドウで[送信 (Submit)] をクリックします。

図 41:

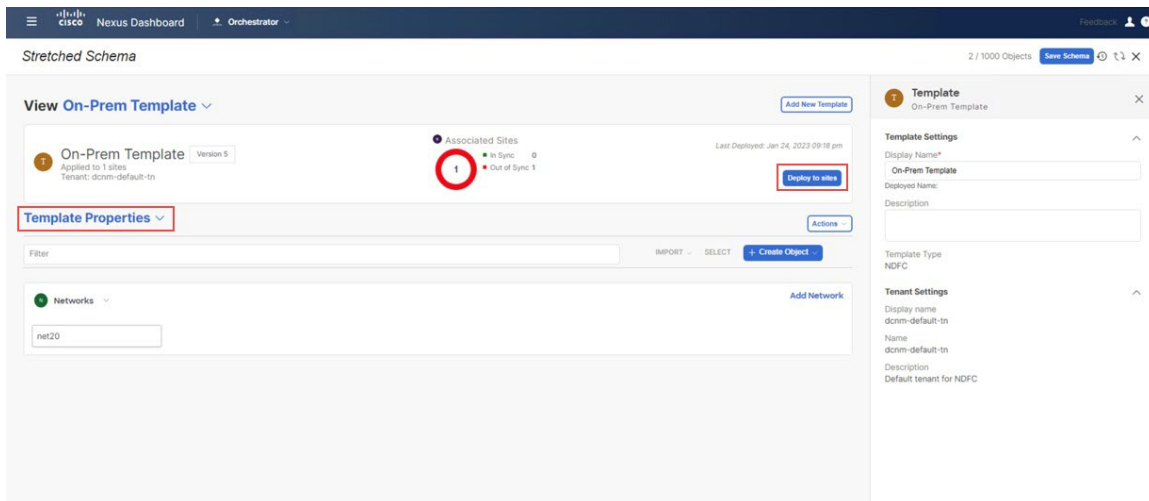


[On-Prem テンプレート (On-Prem Template)] ウィンドウに戻ります。

ステップ 31 オンプレミス サイト (このユース ケースの例ではシドニー サイト) の横にある矢印をクリックし、ドロップダウンメニューから [テンプレート プロパティ (Template Properties)] を選択します。

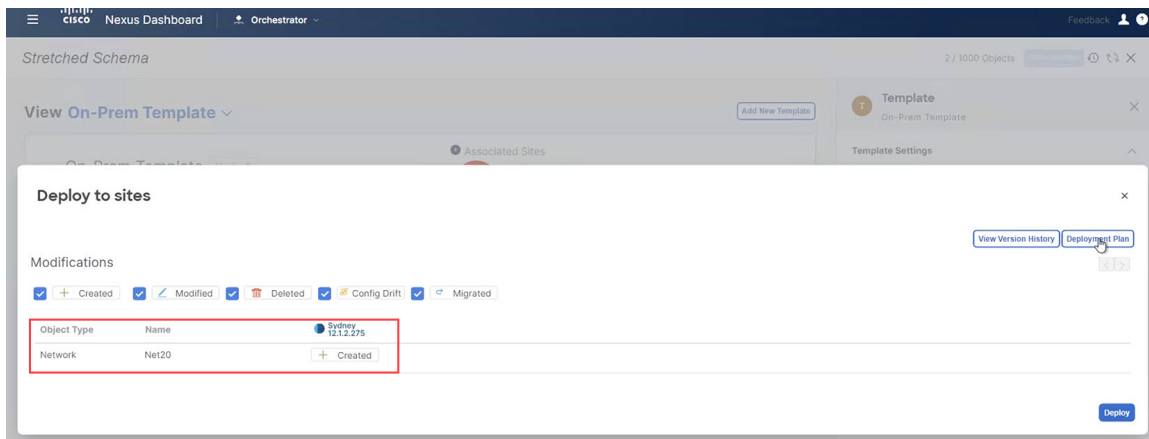
ステップ 32 [サイトに展開 (Deploy to Sites)] をクリックします。

図 42:



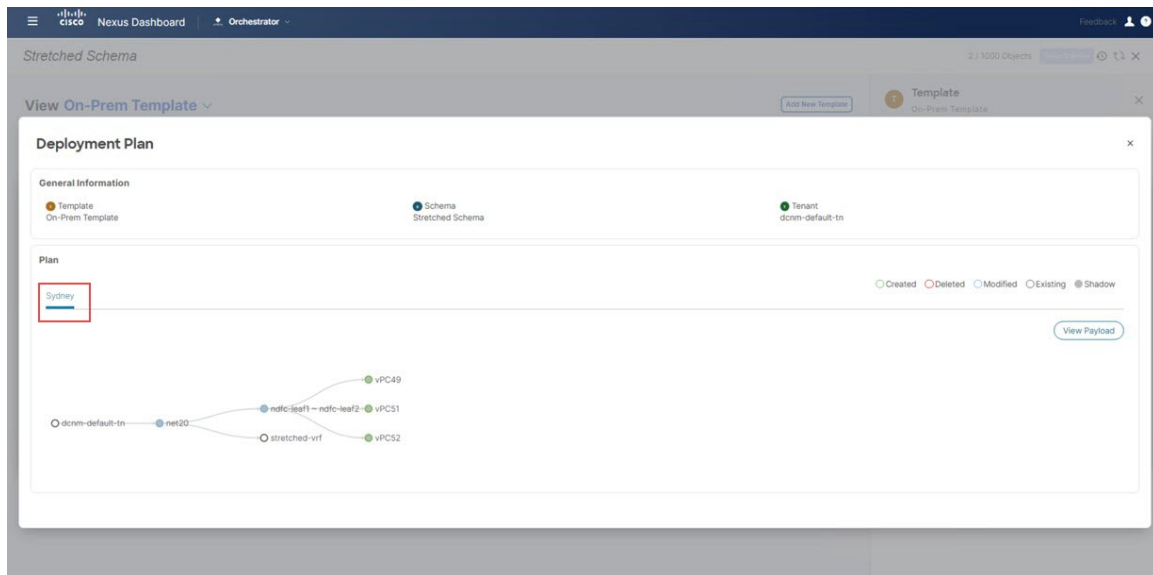
[サイトに展開 (Deploy to Sites)] ウィンドウが表示され、テンプレートが展開されるサイトが表示されます。

図 43:



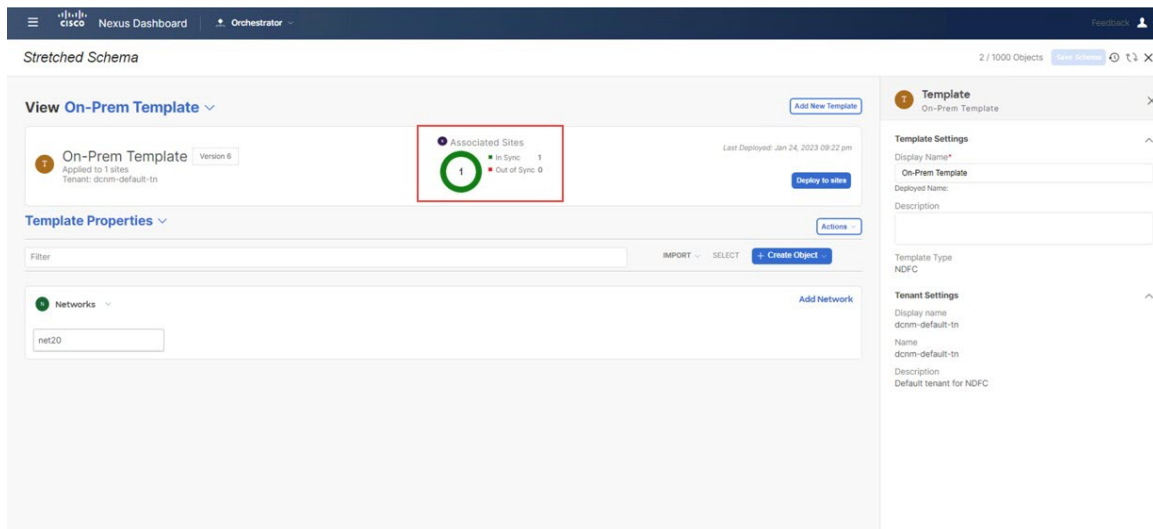
ステップ 33 [展開プラン (Deployment Plan)]を追加認証のためにクリックします。そして、その特定のサイトの展開プランを表示するためにそのオンプレミス サイトをクリックします。

図 44:



ステップ 34 [展開 (Deploy)] をクリックして、NDO が NDFC に構成をプッシュします。

図 45:



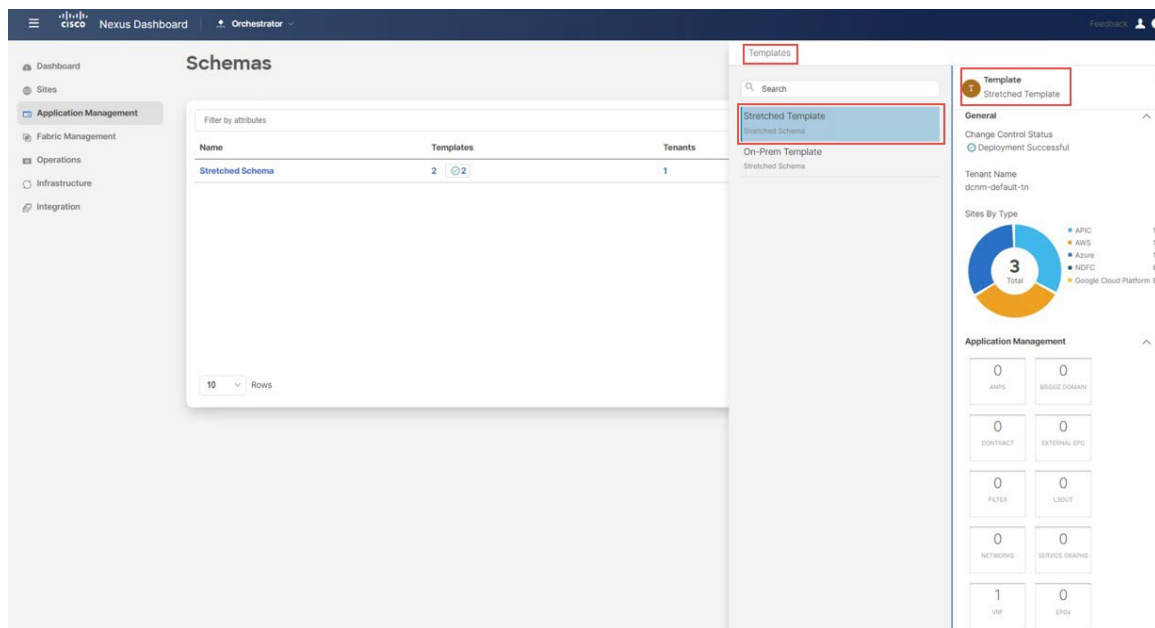
ステップ 35 構成が正常に展開されたことを確認します。

これらの各検証ステップでは、表示されているこのユース ケースの構成のために特定のコマンドが使用されることにご注意ください。構成に基づいて各コマンドの適切な変数を入れ替えます。

a) NDO 内で構成が正常に展開されたことを確認します。

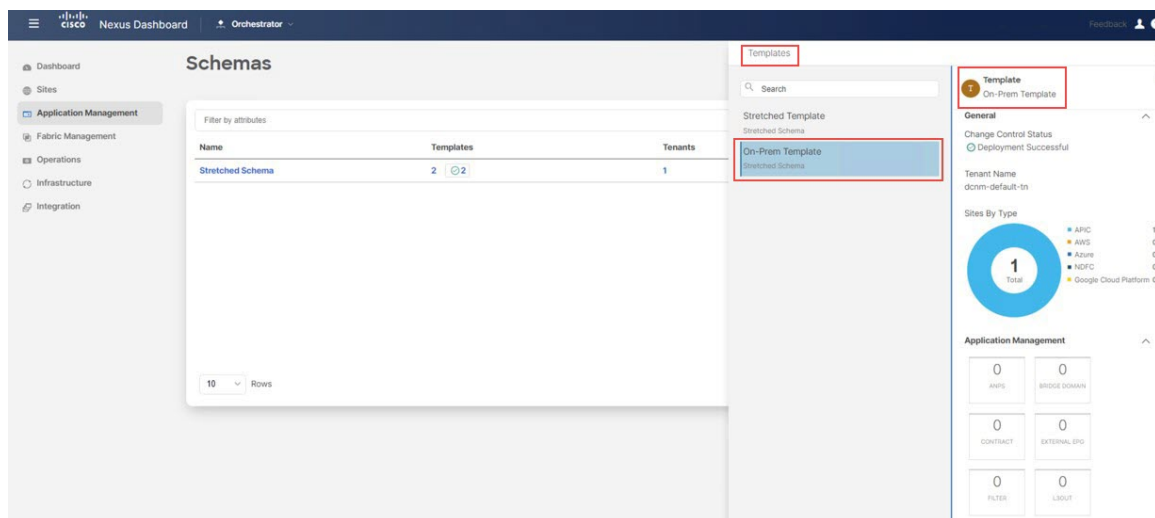
- [ストレッチされた テンプレート (Stretched Template)] が正常に展開されたことを確認します。

図 46:



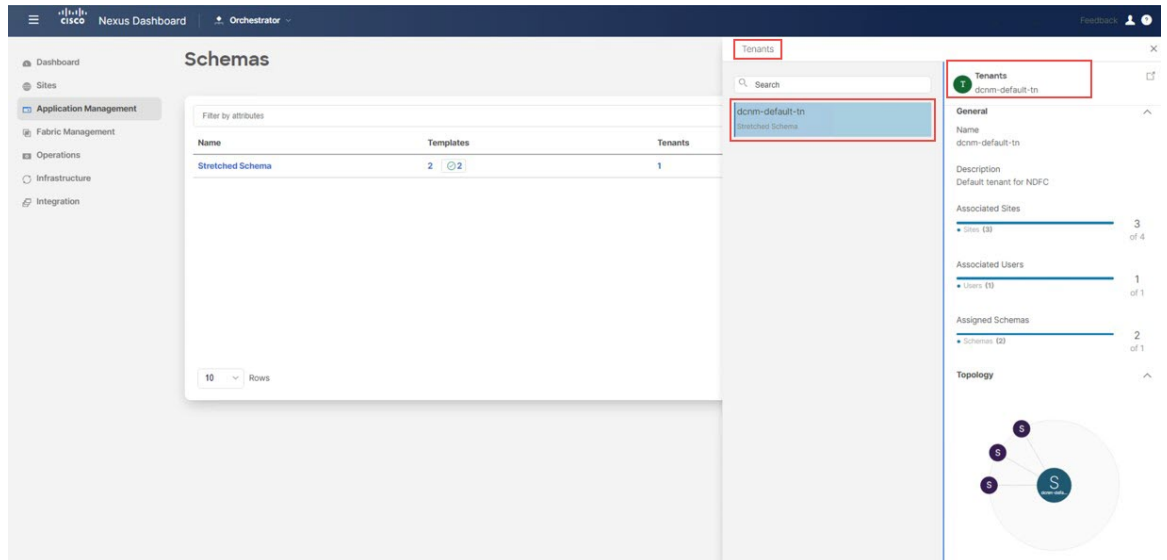
- [On-Premテンプレート (On-Prem Template)] が正常に展開されたことを確認します。

図 47:



- dcn-default-tn テナントが正常に展開されたことを確認します。

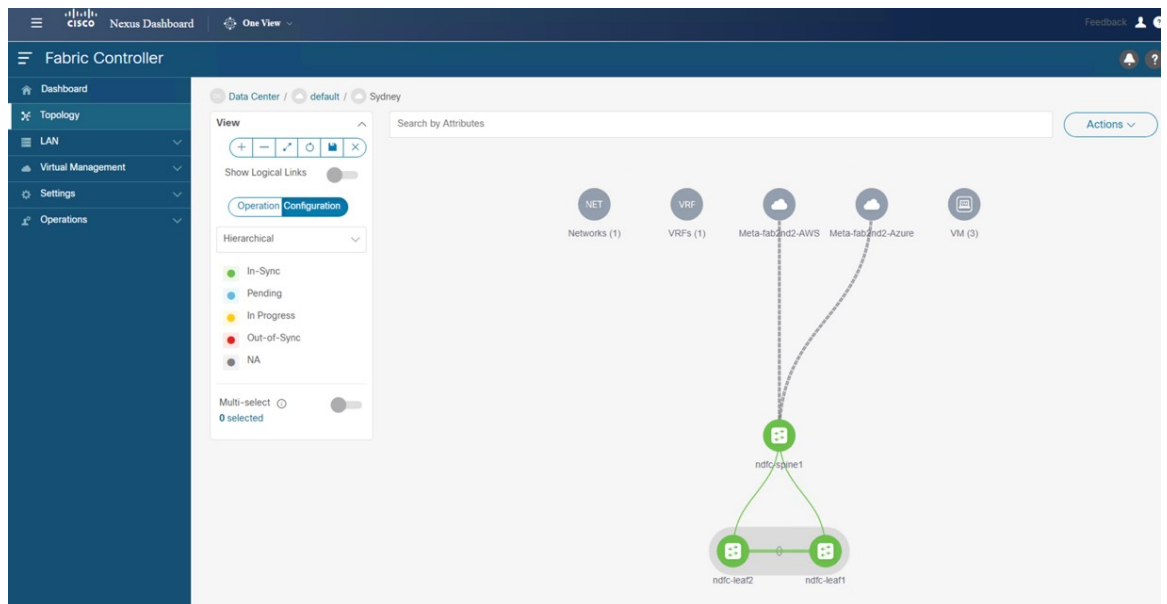
図 48:



b) NDFC で、以下が正常に実行されたことを確認します。

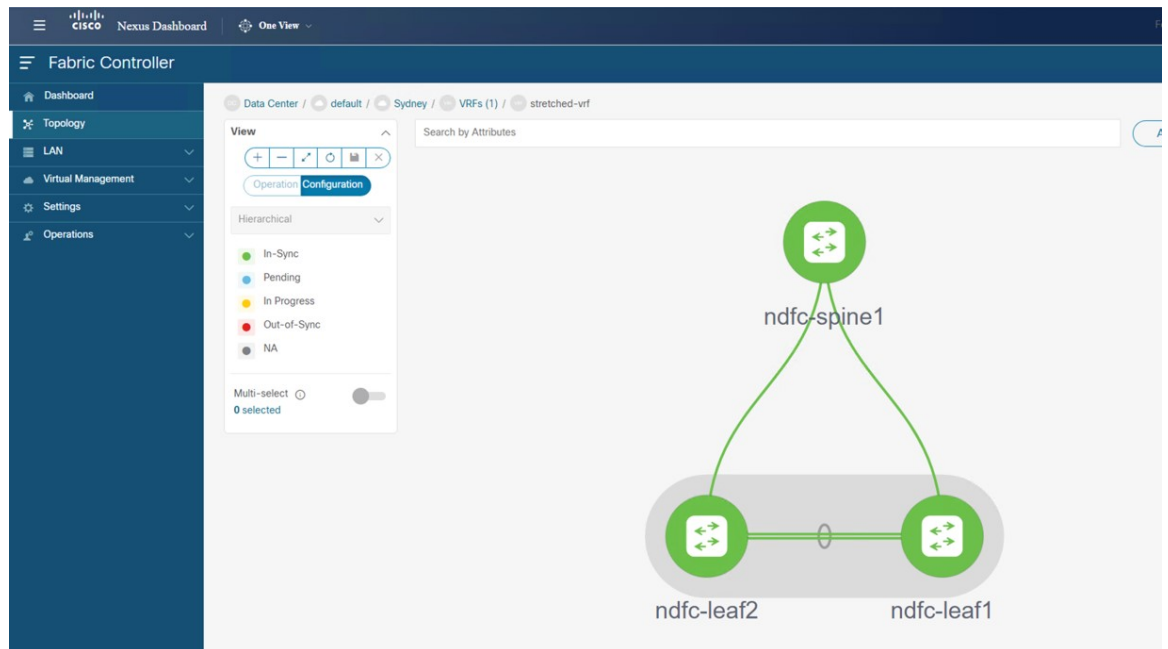
- 1つの vrf と 1つのネットワークが作成されていることを確認します。

図 49:



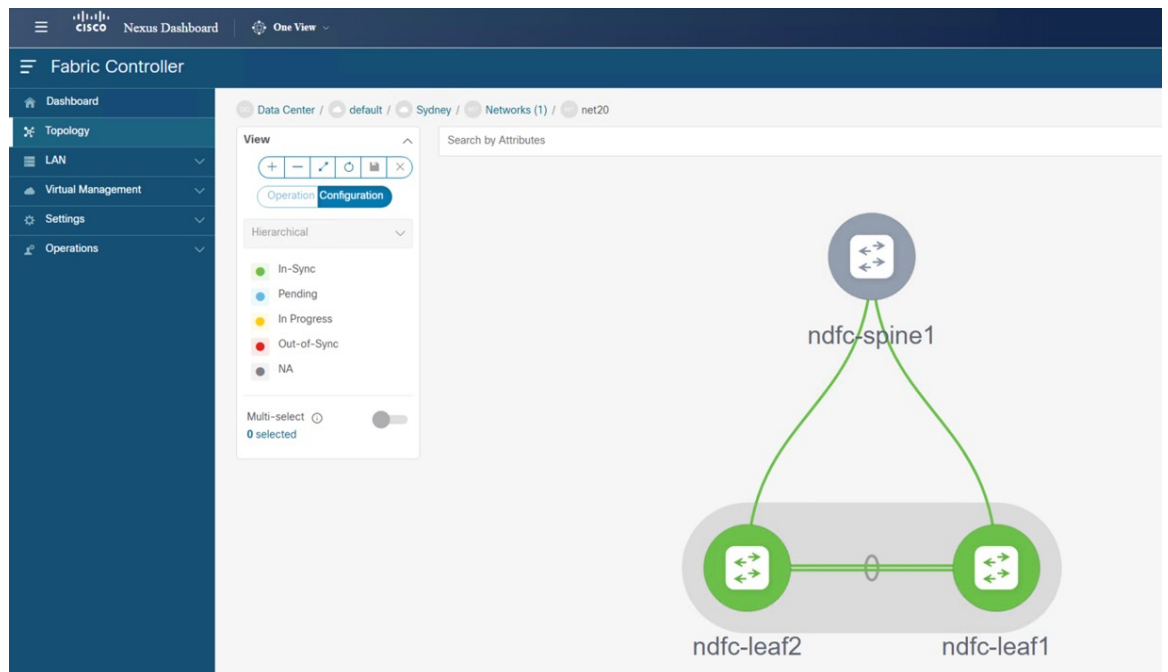
- VRF が正常に展開されたことを確認します。

図 50:



- ネットワーク が正常に展開されたことを確認します。

図 51:



- c) オンプレミスのボーダー ゲートウェイ スパイン デバイスで `sh ip route vrf stretched-vrf` を入力します。

ストレッチされた VRF ユース ケースの構成

```

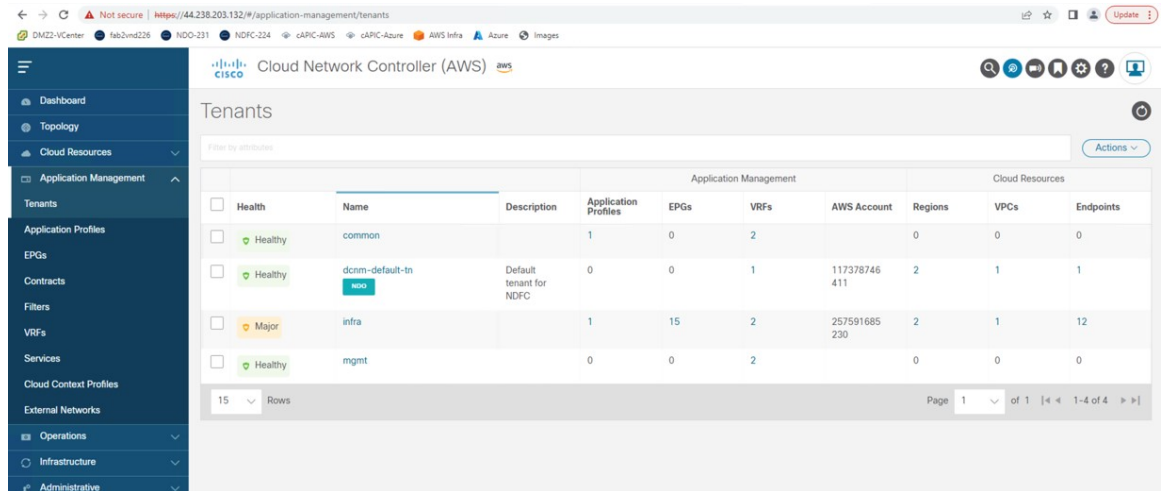
ndfc-leaf1 - SecureCRT
File Edit View Options Transfer Script Tools Window Help
Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or
GNU General Public License (GPL) version 3.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1 or
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.0.
A copy of each such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://opensource.org/licenses/gpl-3.0.html and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php and
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/library.txt.
ndfc-leaf1#
ndfc-leaf1#
ndfc-leaf1#
ndfc-leaf1#
ndfc-leaf1#
ndfc-leaf1#
ndfc-leaf1# sh ip rou vrf stretched-vrf
IP Route Table for VRF "stretched-vrf"
'*' denotes best ucast next-hop
'***' denotes best mcast next-hop
'[x/y]' denotes [preference/metric]
'%<string>' in via output denotes VRF <string>
10.230.0.0/16, ubest/mbest: 1/0
   *via 10.10.0.1%default, [200/0], 00:16:32, bgp-65084, internal, tag 65091, segid: 150555 tunnelid: 0xa0a0001 encap: VXLAN
70.1.0.0/16, ubest/mbest: 1/0
   *via 10.10.0.1%default, [200/0], 00:17:37, bgp-65084, internal, tag 65092, segid: 150555 tunnelid: 0xa0a0001 encap: VXLAN
172.16.20.0/24, ubest/mbest: 1/0, attached
   *via 172.16.20.1, vlan2320, [0/0], 00:04:48, direct, tag 12345
172.16.20.1/32, ubest/mbest: 1/0, attached
   *via 172.16.20.1, vlan2320, [0/0], 00:04:48, local, tag 12345
ndfc-leaf1#
Default
    
```

このユースケースでは、ルーティングテーブルを使用して、NDFC リーフスイッチが次のサブネットに到達できることを確認できます。

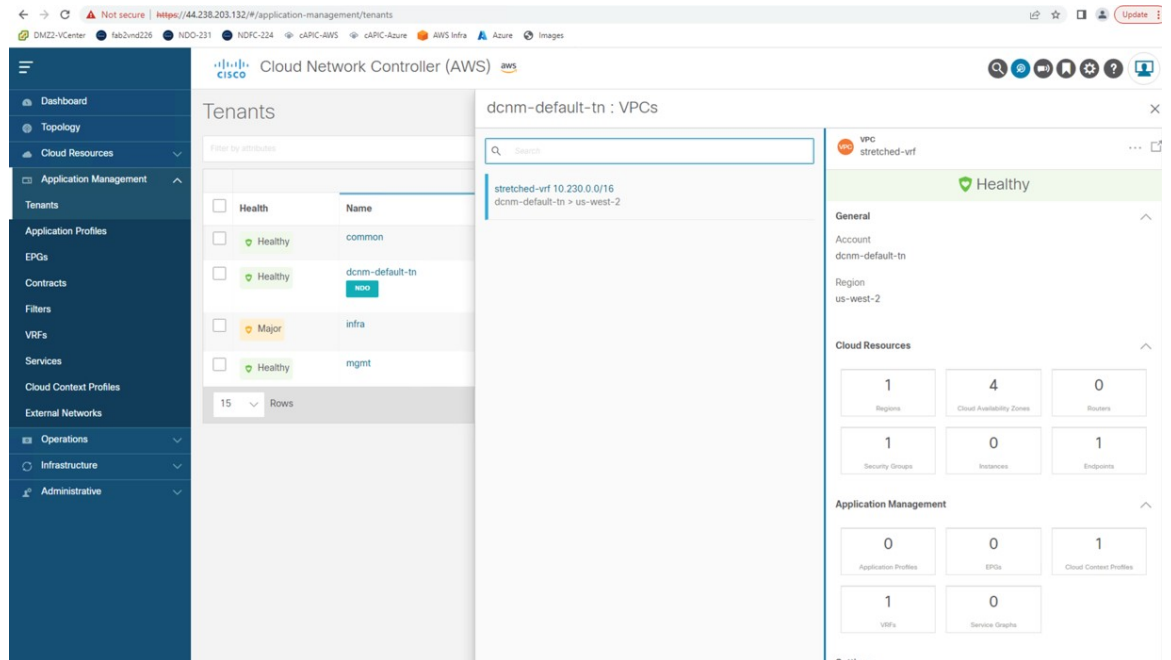
- **AWS** : 10.230.0.0/1
- **Azure** : 70.1.0.0/16

d) AWS に展開されたクラウドネットワークコントローラに接続し、次の検証を行います。

- dcnm-default-tn テナントが作成され、1つのVPCが展開されていることを確認します。



- VPC が展開されていることを確認します。



- AWS に展開されたクラウドネットワークコントローラのルーティングテーブルビューを使用して、到達可能なサブネットが次のようになっていることを確認します。

- **NDFC** : 172.16.20.0/24

- **Azure** : 70.1.0.0/16

ストレッチされた VRF ユース ケースの構成

The image displays two screenshots of the AWS Management Console for a VPC named 'VPC stretched-vrf' in the 'us-west-2' region. The left sidebar shows the 'Overview' tab with various resource counts: 1 Region, 4 Cloud Availability Zones, 0 Routers, 1 Security Group, 0 Instances, 2 Endpoints, 0 Application Profiles, 0 EPGs, 1 Cloud Context Profiles, 1 VRFs, and 0 Service Graphs. The main content area shows the 'Subnets for CIDR Block 10.230.0.0/16' page. The subnets listed are 10.230.1.0/24 and 10.230.2.0/24. The 'Settings' panel on the right shows the 'Route Table Settings' for 'stretched-vrf.egress', with a table of entries:

Destination Address	Next Hop
172.16.20.1/24	Hub Network
70.1.0.0/16	tgw-034a97dd5ed64b877 Hub Network
10.230.0.0/16	local

e) AWS コンソールで、次のことを確認します。

- 1つの VPC と 2つのサブネットが表示されていることを確認します。

Resources by Region Refresh Resources

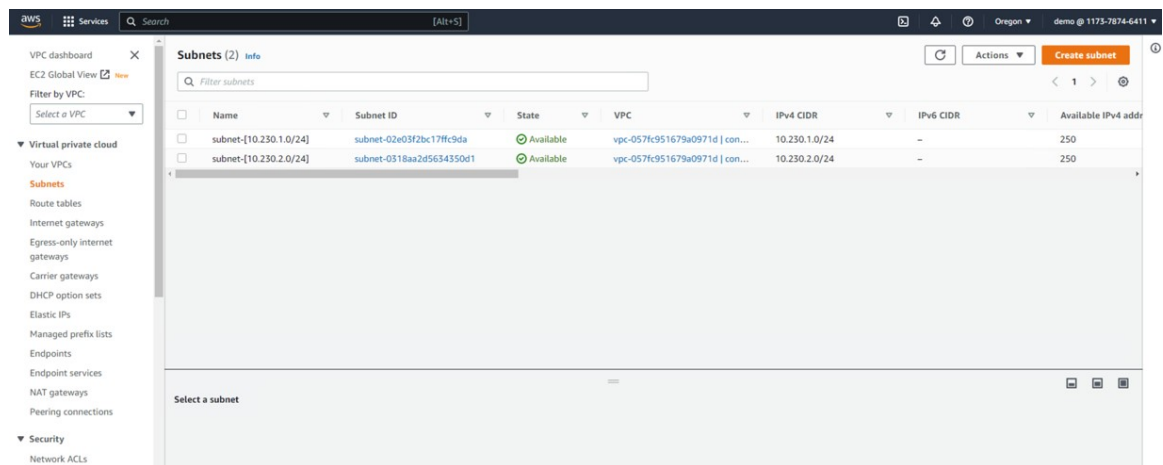
You are using the following Amazon VPC resources

Resource	US West
VPCs	1
NAT Gateways	0
Subnets	2
VPC Peering Connections	0
Route Tables	3
Network ACLs	1
Internet Gateways	1
Security Groups	2
Egress-only Internet Gateways	0
Customer Gateways	0
DHCP option sets	1
Virtual Private Gateways	0
Elastic IPs	2
Site-to-Site VPN Connections	0
Endpoints	0
Running Instances	0
Endpoint Services	0

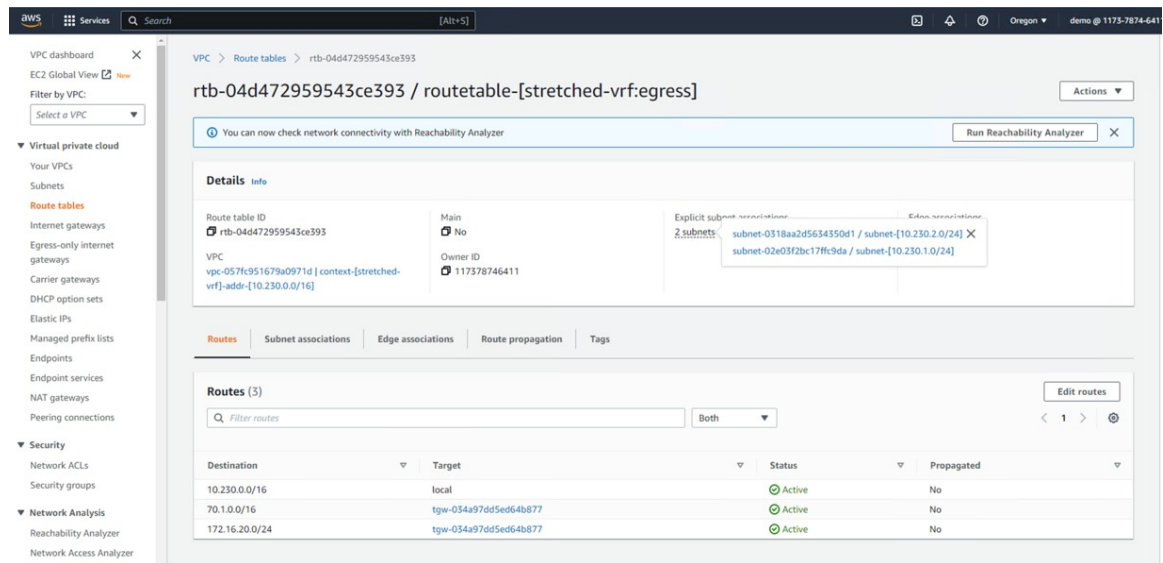
Your VPCs (1) Info

Name	VPC ID	State	IPv4 CIDR	IPv6 CIDR	DHCP option set
context-[stretched-vrf]-addr-[10.230.0.0/16]	vpc-057fc951679a0971d	Available	10.230.0.0/16	-	dopt-2278255a

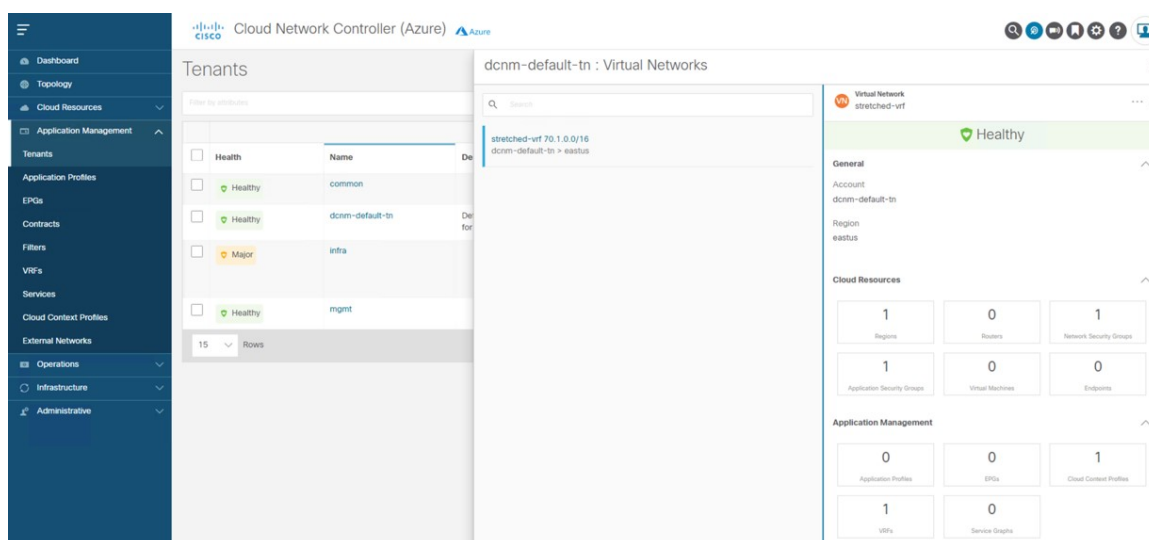
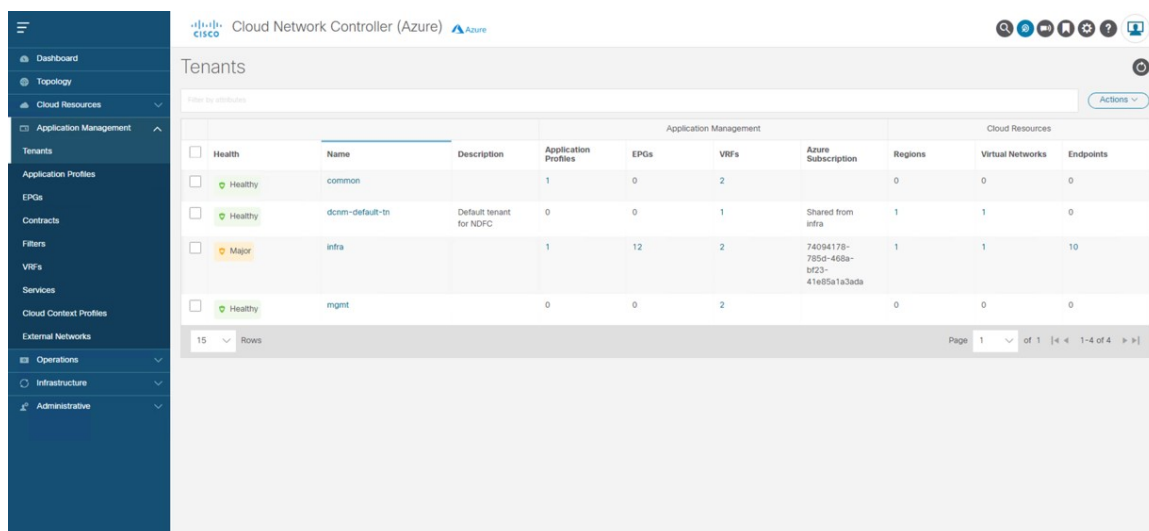
ストレッチされた VRF ユース ケースの構成



- ルーティング テーブルが表示されていることを検証する。



- f) Azure に展開されたクラウド ネットワーク コントローラに接続し、次の検証を行います。
- dcnm-default-tn テナントが作成されていることを確認します。



- VRF が展開されていることを確認します：

ストレッチされた VRF ユース ケースの構成

The screenshot shows the Cisco Cloud Network Controller (Azure) interface. The main content is a table titled "VRFs Leak Routes". The table has columns for Health, Name, EPGs, Cloud Context Profiles, Regions, Virtual Networks, Routers, and Endpoints. There are 7 rows of data, with the last two rows showing non-zero values for EPGs, Cloud Context Profiles, Regions, Virtual Networks, Routers, and Endpoints.

Health	Name	EPGs	Cloud Context Profiles	Regions	Virtual Networks	Routers	Endpoints
Healthy	ave-cbr infra	0	0	0	0	0	0
Healthy	copy common	0	0	0	0	0	0
Healthy	default common	0	0	0	0	0	0
Healthy	inb mgmt	0	0	0	0	0	0
Healthy	oob mgmt	0	0	0	0	0	0
Healthy	overlay-1 Internal infra	12	1	1	1	2	10
Healthy	stretched-vrf Internal dcrn-default-tn	0	1	1	1	0	0

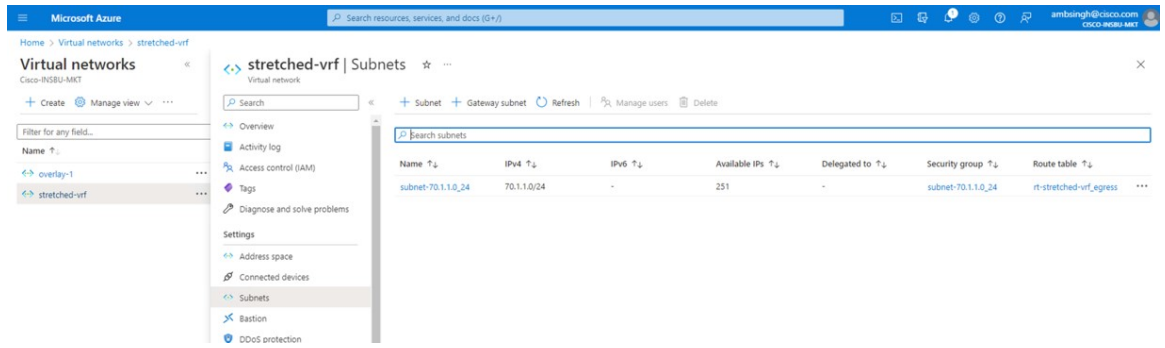
• AWS に展開されたクラウド ネットワーク コントローラのルーティング テーブル ビューを使用して、到達可能なサブネットが次のようになっていることを確認します。

- **NDFC** : 172.16.20.0/24
- **AWS** : 10.230.0.0/1

The screenshot shows the Azure portal interface for a Virtual Network named "Virtual Network stretched-vrf". The main content is a table titled "Subnets for CIDR Block 70.1.0.0/16". The table has columns for Subnet Name, Settings, and Route Table Settings. There are 3 rows of data, with the last two rows showing non-zero values for Settings and Route Table Settings.

Subnet Name	Settings	Route Table Settings
70.1.1.0/24	Cloud Access Privilege Inherited (Routing & Security)	Cloud Access Privilege Inherited (Routing & Security)
70.1.1.0/24	Cloud Context Profile stretched-vrf-eastus	Cloud CIDR's Subnet 70.1.1.0/24
70.1.1.0/24	Cloud Provider ID /subscriptions/74094178-785d-468a-bf23-41e85a1a3ada/resourceGr...	Cloud Provider ID /subscriptions/74094178-785d-468a-bf23-41e85a1a3ada/resourceGr...

g) Azure コンソールで、サブネットが表示されることを確認します。



翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。